

Allied Telesis

CentreCOM[®]

AR100

ダイヤルアップ・ルーター

ISDN/高速デジタル専用線対応・DSU 内蔵

取扱説明書 かんたん編

次の場合は、本書をお読みください。

- ISDNでインターネットサービスプロバイダーに接続する。
- 電話やFAXを利用する。



安全のために

必ずお守りください

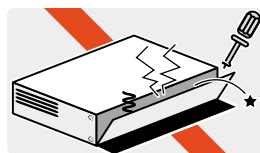


警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

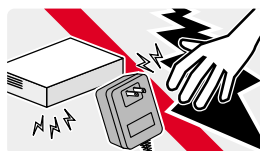
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときは
さわらない

異物はいれない 水は禁物

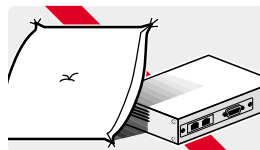
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)



異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所
注意

表示以外の電圧では使用しない

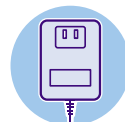
火災や感電の原因となります。
本製品に付属の電源アダプターは 100V で動作します。



電圧注意

付属の電源アダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。
必ず、付属の電源アダプターを使用してください。



付属品
を使え

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

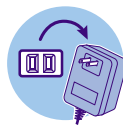
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを
抜け

電源ケーブルを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、シュートを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り扱いはいねいに

落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤
使用



強く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）



シンナー
類不可

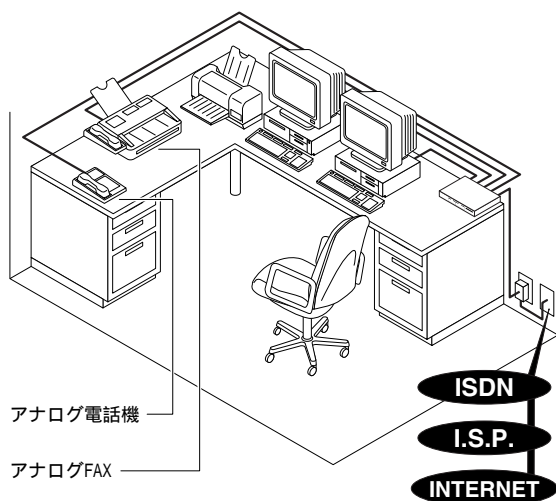
はじめに

このたびはCentreCOM AR100 ダイアルアップ・ルーターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

CentreCOM AR100 ダイアルアップ・ルーター* (以降はAR100と略します)は、INSネット64*や専用線*を使って、インターネットサービスプロバイダー* (以降プロバイダーと略します)と接続するためのダイアルアップ・ルーターです。DSU*、HUB* (各4ポート)、アナログ(2ポート)、S/T点* (2ポート)を内蔵しており、パソコン4台から同時にインターネットにアクセスできます。INSダイヤルインサービスやi・ナンバーサービスを利用すれば、アナログ電話機* (以降は電話機と略します)やG3 FAX* (以降FAXと略します)に別の番号を割り当てることができます。また、デジタル通信機器*も2台接続することができます。

このようにパソコンを用いたインターネット接続環境を、手軽に低コストで構築でき、SOHO*などの小規模オフィス向けインターネット接続に最適です。

なお、本書では以下の環境でAR100をお使いいただくことを前提に、設置・設定方法などについて説明しています。



その他の設置・設定方法などについての詳細は、同梱されております「取扱説明書・詳細編」を参照してください。

AR100の性能を十分に発揮し、正しくお使いいただくためにも、本書または「取扱説明書・詳細編」を必ずお読みいただくようお願いいたします。

また、本書は製品とともに保管してください。

注意!! 回線料金について

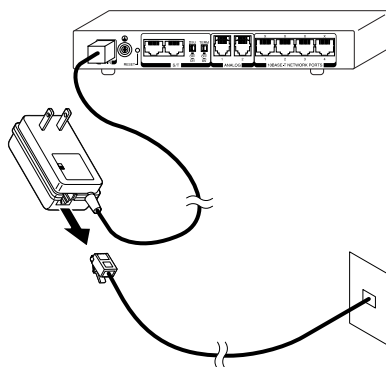
次の場合は通信料金が課金されています。

- ・ B1またはB2 LED(ランプ)が緑色に点灯または点滅している



本装置は接続したパソコンからの要求に応じて、自動的にダイヤル発信を行い回線に接続するため、ご使用の機器やソフトウェアなどの利用条件によっては、不要なダイヤル発信が行われる可能性があります。

回線が自動的に切断されなかったり、一定周期に自動的に接続されているなどの異常な現象が起きている場合は、直ちに本装置からISDN回線ケーブルを引き抜いてください。



本装置には、通信の利用限度額を超えた場合に通信を行わないように設定する機能が搭載されています。(☞ p.20)

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

Macintosh は、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。

Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Stacker は Stac Electronics 社の登録商標、LZS は商標です。

Netscape 及び Netscape Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

®マークおよび™表記については本文中に明記しません。

- ・ 本マニュアルは、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス株式会社が保有しています。本書の全部または一部を弊社の同意なしにコピーまたは転載することを固くお断りいたします。
- ・ アライドテレシス株式会社は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- ・ アライドテレシス株式会社は、改良のため予告なく製品の仕様を変更することがありますのでご了承ください。
- ・ 本マニュアルについて、万一記載漏れ、誤りやご不審な点等ございましたらご連絡ください。
- ・ 本製品を運用して発生した結果については、上記4項目にかかわらず、責任を負いかねますのでご了承ください。

© 2000, 2001 アライドテレシス株式会社

各ページの構成と記号について説明します。

章見出し

●5 インターネットに接続する

注意

操作中に気をつけていただきたいことです。必ずお読みください。

中見出し

●5-1 ダイヤルアップ接続を行う

memo あらかじめ、プロバイダーから入手した契約内容を明記した資料を用意しておいてください。

1 「かんたん設定」から、「ダイヤルアップ接続」をクリックしてください。

ダイヤルアップ接続ページが表示されます。

2 設定内容を入力してください。

接続先名称

プロバイダー名称や接続先等、わかりやすい名称を半角40文字まで、自由に入力してください。

回線種別

プロバイダーとの契約に基づいて指定してください。

memo 「BODの使用」で「使用する」を選択すると、回線接続中でも電話やG3 FAXを使用することができます。

注意!! BOD機能を使用するには、フレックスホーンサービスの契約が必要となります。(p.30)

ユーザID

プロバイダー指定のユーザIDを入力してください。

ユーザパスワード

プロバイダー指定のユーザパスワードを入力してください。

入力した文字は「*」で表示されます。

接続先の電話番号

お近くのプロバイダーのアクセスポイントを、市外局番から入力してください。

DNSリレー

「DNSサーバアドレス自動取得」を選択してください。

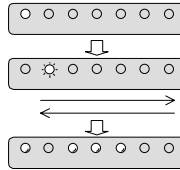
3 設定内容を確認してください。

注意!! ユーザID、ユーザパスワード、接続先の電話番号を誤って入力すると、正常に接続されません。

4 「保存する」をクリックしてください。操作フレームには次の内容が表示されます。



数秒間にわたりPOWERランプ以外のLEDが左右に順次点滅していき、いったんPOWER以外のLEDが消灯してまもなく、POWER、READY、WAN、およびLANのLEDが点灯します。



5 POWER、READY、WAN、およびLANのLEDが点灯したのを確認後、パソコンを再起動してください。再起動することにより、IPアドレスなどのネットワーク設定がパソコンに割り当てられ、インターネットへの接続設定は完了です。

メモ

補足事項や知っていたきたいことです。

* の付いている用語については、末尾の用語集に掲載しています。

参照ページ

記載ページや、参考になる記述個所のページです。

ページ

memo

このページの例は説明のために構成されています。実際のページ内容とは異なります。

目 次

安全にお使いいただくために	2
ご使用にあたってのお願い	3
お手入れについて	3
はじめに	4
取扱説明書の読みかた	5
目 次	6
1 お使いになる前に	7
1-1 パッケージの確認	7
本体	7
付属品	7
1-2 AR100の概要	8
AR100を使うまで	9
1-3 各部の名称と機能	10
前面図	10
底面図	10
背面図	10
電源アダプター	10
1-4 「INSネット64」の契約内容を確認する	11
2 パソコンの準備	12
2-1 LANアダプターの確認	12
Windows98/95の場合	12
Macintoshの場合	12
2-2 TCP/IPの設定	13
Windows98/95の場合	13
Macintoshの場合	14
3 AR100との接続	15
4 設定の準備	17
4-1 プロバイダーとの契約を確認する	17
4-2 パソコンの設定を確認する	17
4-3 WWWブラウザを起動する	17
4-4 CentreCOM AR100 Topページの見方	18
5 インターネットに接続する	19
5-1ダイヤルアップ接続を行う	19
5-2 インターネットに接続する	20
6 電話機/FAXを使う	21
6-1 電話/FAXをかける・受ける	21
6-2 別々の番号を使用する (電話/FAX)	21
i・ナンバーを利用する	22
INSダイヤルインサービスを利用する	23
6-3 キャッチホン機能を使う	24
コールウェイティングを利用する	24
擬似コールウェイティングを利用する	25
6-4 相手によって着信音を変える	26
INSなりわけサービスを利用する	26
擬似なりわけサービスを利用する	27
6-5 もう一方の電話/FAXに転送する	28
6-6 別の電話番号に転送する	29
6-7 自動的に別の電話番号に転送する	30
7 情報を表示する	31
7-1 累積料金を表示する	31
7-2 着信番号履歴を表示する	32
8 その他の設定	33
8-1 メール着信を確認する	33
8-2 ファームウェアを更新する	34
8-3 購入時の設定に戻す	35
8-4 パスワードを設定する	36
8-5 音量を調節する	36
付 録	37
製品仕様	37
故障かな？と思ったら	38
電話操作早見表	40
INSネット64サービスについて	42
用語集	43
索 引	45
ユーザーサポート	47
「調査依頼書」ご記入にあたって	47
調査依頼書(CentreCOM AR100 1/2)	48
調査依頼書(CentreCOM AR100 2/2)	49

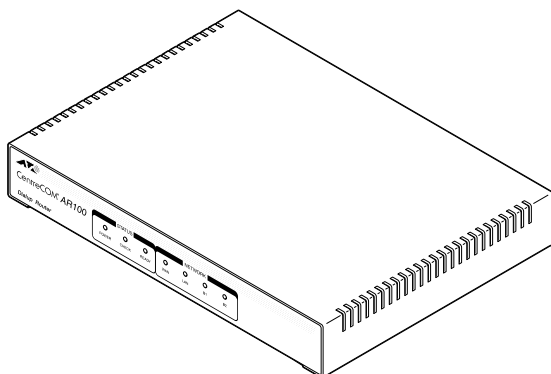
1 お使いになる前に

1-1 パッケージの確認

パッケージを開けたら、まずこれらがすべて揃っているかどうかを確認してください。

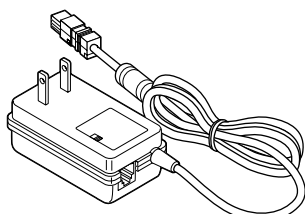
万一、足りないものがありましたら、お買い上げになった販売店までお問い合わせください。

本体

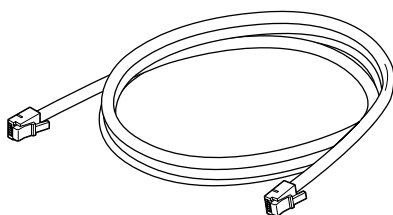


CentreCOM AR100 ダイヤルアップ・ルーター

付属品



電源アダプター (1個)



回線ケーブル（約3m 1本）
（WAN*接続ケーブル：RJ-11コネクター）

memo

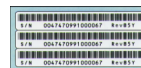
回線ケーブルは、AR100と壁に埋め込まれているモジュラージャックを接続するためのものです。
パソコンを接続するためのケーブル(イーサネットケーブル)等は別途ご用意ください。



取扱説明書・かんたん編
(本書 1冊)



取扱説明書・詳細編
(1冊)



シリアル番号シール（1枚）



製品保証書（1枚）


[illegible]

ユーザー登録カード（1枚）

注意!! ユーザー登録カードについて

本製品に付属の「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みいただき、「ユーザー登録カード」に必要事項を記入して、弊社まで返送してください。

「ユーザー登録カード」が返送されていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受けることができません。

また、電子メールによるユーザー登録もお受けしております。
詳細につきましては、弊社ホームページを参照してください。
( p.47)

注意!!

本書以外に添付書類が同梱されることがありますが、その場合はまずそちらをお読みください。

1-2 AR100の概要

AR100はINSネット64でプロバイダーに接続して、インターネットを利用するためのダイヤルアップ・ルーターです。

・アナログポート*を2ポート装備

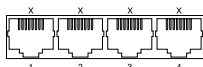
電話機やFAXは、アナログポートに2台まで接続することができ、INSダイヤルインサービスやi・ナンバーサービスを利用すれば、電話とFAXに別々の番号を割り当てることもできます。



さらに、キャッチホンや、着信鳴り分け、三者通話などの、INS付加サービスも利用することができます。

・10BASE-T*を4ポート装備

パソコンは10BASE-Tポートに4台まで直接接続することができ、端末型ダイヤルアップ*接続契約をしている場合でも、複数のパソコンから同時にインターネットにアクセスできます(IPアドレスの変換)。



・WWWブラウザ*から簡単設定

ダイヤルアップ接続やLAN*環境、アナログポートの設定などをWWWブラウザのメニューから簡単に行うことができます。

また、「アドレス自動割り当て機能*」をサポートしており、パソコンにアドレスをいちいち割り当てる必要がありません。

・無駄な通信コストをカット

あらかじめ設定した時間や料金を超えて通信を行っている場合に、自動的に通信を切断する「タイマー機能」や、次回から通信を接続しないようにする「課金リミッタ機能」が搭載されています。

逆に、INSテレホーダイサービスやIP接続サービスに加入している場合は、一定時間アクセスをしなくても回線切断を行わない設定をすることができます。

・メール着信通知サービス

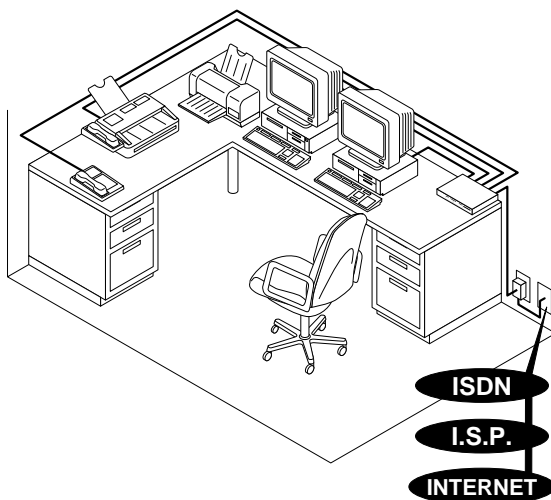
あらかじめスケジュールを設定しておく、メールサーバーに自動的にアクセスしてメールの着信チェックを行うことができます。

・ファームウェア*の更新が簡単

WWWブラウザから簡単に最新のファームウェアを取得して、更新することができます。

・効率的な回線使用

AR100では回線を2本同時に使用することにより、高速通信を実現する「MP*接続」機能を搭載しています。また、MP接続時に電話やFAX等、アナログ回線の発着信があった場合、一方のBチャンネルを切断して発着信を受ける「BOD機能*」も搭載しています。



memo INSテレホーダイサービスとは、夜11時から朝8時までの指定した電話番号への通信料を定額で利用できるNTTのサービスです。

memo IP接続サービスとは、インターネットへの常時接続を月額固定料金で利用できるNTTのサービスです。

AR100を使うまで

パソコンの準備

- ・ LANアダプターの確認 (👉 p.12)
- ・ TCP/IPの設定 (👉 p.13)



AR100との接続 (👉 p.15)



設定の準備

- ・ プロバイダーとの契約を確認する (👉 p.17)
- ・ パソコンの設定を確認する (👉 p.17)
- ・ WWWブラウザを起動する (👉 p.17)
- ・ CentreCOM AR100 Topページの見方 (👉 p.18)



インターネットに接続する

- ・ ダイヤルアップ接続を行う (👉 p.19)
- ・ インターネットに接続する (👉 p.20)



電話機/FAXを使う

- ・ 電話/FAXをかける・受ける (👉 p.21)
- ・ 電話とFAXで別々の番号を使用する (👉 p.21)
- ・ キャッチホン機能を使う (👉 p.24)
- ・ 相手によって着信音を変える (👉 p.26)
- ・ もう一方の電話に転送する (👉 p.28)
- ・ 別の電話番号に転送する (👉 p.29)
- ・ 自動的に別の電話番号に転送する (👉 p.30)

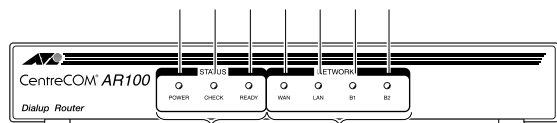


情報を表示する

- 累積料金の表示 (👉 p.31)
- 着信信号履歴の表示 (👉 p.32)

1-3 各部の名称と機能

前面図



POWER LED*

点灯(緑)：電源が投入されている状態

CHECK LED

点灯(橙)：本体機器に異常が発生した時、起動できない時

点滅(橙)：「NTT交換機を認識できない」などのWAN回線異常やLAN回線異常、本体機能に障害がある時

READY LED

点灯(緑)：電源が投入されている状態で、起動に成功した時

WAN LED

点灯(緑)：AR100とプロバイダーとの回線が通信可能な状態

点滅(緑)：AR100とプロバイダー間で通信ができない状態

LAN LED

点灯(緑)：LAN側に接続されている機器が通信可能な状態(リンクアップ*)

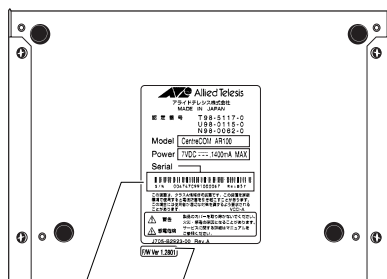
点滅(緑)：LAN側でデータの送受信が行われている時

B1*/B2* LED

点灯(緑)：B1またはB2チャネルが使用されている時
点滅(緑)：B1またはB2チャネルでデータの送受信が行われている時

注意!! B1またはB2のLED(ランプ)が点灯または点滅している場合は、通信料金が課金されています。

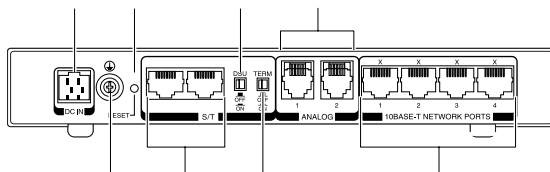
底面図



品名ラベル

シリアルナンバー、ファームウェアのバージョンなどが記載されています。

背面図



電源アダプターコード差込口

電源アダプターコードを差し込みます。

FG端子

アース線を接続します。

注意!! アース線は別途ご用意ください。

リセットスイッチ

すべての設定を初期化し、お買い上げ時の設定に戻すことができます。(p.35)

S/T点

G4 FAX*などのデジタル通信機器を接続します。

DSU切離しスイッチ

本体内蔵のDSUを使用する(ON)/使用しない(OFF)を切り替えます。

終端抵抗切替スイッチ

AR100にパソコンと電話機/FAXを接続する場合は、ONに設定してください。

アナログポート(2ポート)

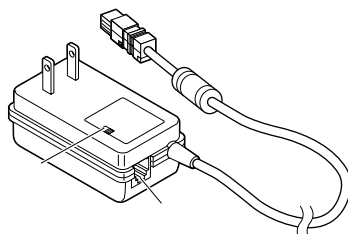
電話機/FAXなどのアナログ通信機器を接続します。

注意!! PBX、ビジネスホンは使用できません。

10BASE-Tポート(4ポート)

パソコンを接続します。

電源アダプター



回線コネクター

ISDN*回線を接続します。

U点極性反転スイッチ (REV/NOR)

ISDN回線の極性が正しく接続されていない(通信ができない)場合にスイッチを切り替えます。

電源アダプターコード

本体の電源アダプターコード差込口に差し込みます。

1

1 お使いになる前に 11

2 パソコンの準備

AR100を使ってインターネットにアクセスするには、LANアダプター*が装備され、TCP/IPが動作しているパソコンが必要です。また設定にはWWWブラウザが必要です。

- ・LANアダプターの確認 (👉 p.12)
- ・TCP/IPの設定 (👉 p.13)

memo お使いのパソコンにLANアダプターが装備されていない場合は別途購入し、LANアダプターの取扱説明書に従ってセットアップを行ってください。

Macintoshの場合

Macintoshの場合、PowerMacintosh以降の機種では、基本的にLANアダプターが標準装備となっています。

memo 一部の機種(PowerMacintosh8100等)では、イーサネットを使用するために別途トランシーバーの購入が必要です。詳細については付属の取扱説明書を参照してください。

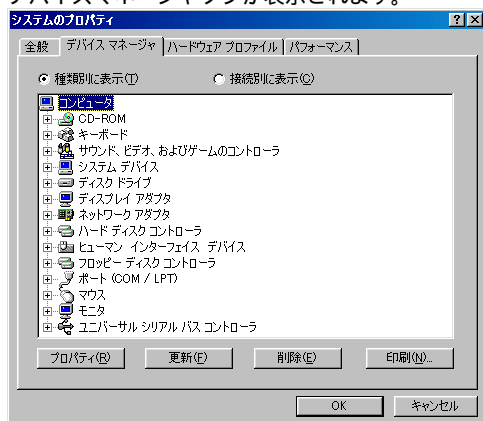
2-1 LANアダプターの確認

Windows98/95の場合

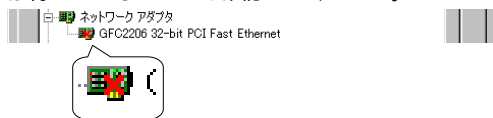
LANアダプターが正常に動作していることを確認します。

- 1 マイコンピュータを右クリックし、ポップアップメニューからプロパティを選択してください。
システムのプロパティダイアログが表示されます。

- 2 **「デバイスマネージャ」** をクリックしてください。
デバイスマネージャタブが表示されます。



- 3 ネットワークアダプタに「X」、「！」や「①」マークが付いていないことを確認してください。



図のように、「X」、「！」や「①」マークが付いている場合は、LANアダプターが正常に動作していません。LANアダプターの取扱説明書に従い、正常に動作するように設定し直してください。

memo LANアダプターを正常に動作させることができない場合は、LANアダプターの製造元にお問い合わせください。

memo ネットワークアダプタの欄に「ダイヤルアップアダプタ」や「赤外線PnPシリアルポート」等が表示されていることがありますが、これらはLANアダプターではありません。

memo 次のいずれかのWWWブラウザを用意してください。

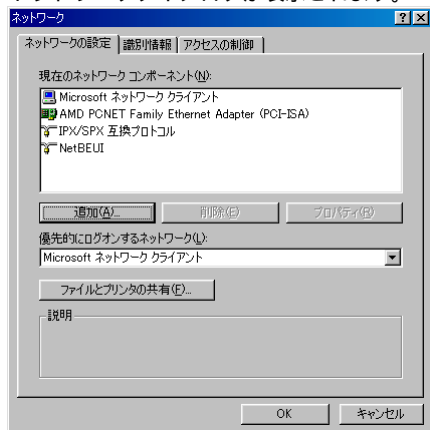
- ・Microsoft Internet Explorer Ver. 4.0以上
- ・Netscape Navigator Ver. 3.0以上、
あるいはNetscape Communicator Ver. 4.0以上

2-2 TCP/IPの設定

Windows98/95の場合

- 1 「コントロールパネル」のネットワークアイコンをダブルクリックしてください。

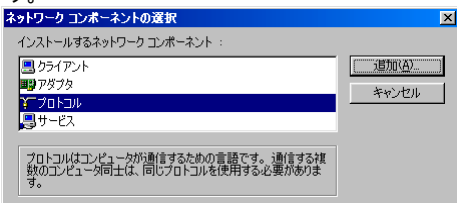
ネットワークダイアログが表示されます。



- 2 ネットワークコンポーネントのリストにTCP/IPを追加してください。

追加(A)... をクリックして、ネットワークコンポーネントの選択ダイアログを表示してください。

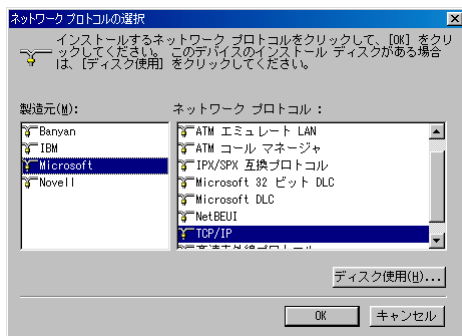
プロトコルを選択し、**追加(A)...** をクリックしてください。
ネットワークプロトコルの選択ダイアログが表示されます。



注意!! TCP/IPネットワークモジュールが組み込まれる際に、Windows98または95のCD-ROMを要求されることがありますので、あらかじめ用意しておいてください。

「製造元(M)」 - 「Microsoft」 から、「ネットワークプロトコル」 - 「TCP/IP」を選択し、**OK** をクリックしてください。

TCP/IPネットワークモジュールが組み込まれます。

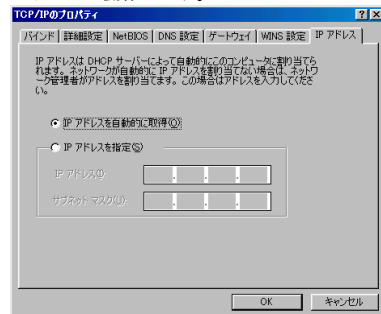


OK をクリックしてください。

再起動が行われ、TCP/IPモジュールの組み込みが完了します。

memo

WindowsのTCP/IPモジュールは、初期状態で「IPアドレスを自動的に取得」が選択されており、DHCPクライアントとして動作します。



memo

既にTCP/IPが組み込まれている場合は、次の操作を行ってください。

- 1 [TCP/IP] を選択し、**プロパティ(R)** をクリックしてください。
- 2 IPアドレスのプロパティ内容によって次の操作を行ってください。
 - ・ IPアドレスが192.168.1.2 ~ 192.68.1.254の範囲内であるか、または **IPアドレスを自動的に取得(O)** が選択されている場合、**キャンセル** をクリックして、ネットワークダイアログに戻ってください。
 - ・ 上記でない場合、**IPアドレスを自動的に取得(O)** を選択するか、以下の範囲の任意の値をIPアドレスに入力し、192.168.1.2 ~ 192.168.1.254 次にサブネットマスクに “ 255.255.255.0 ” を入力した後、**OK** をクリックしてください。

memo

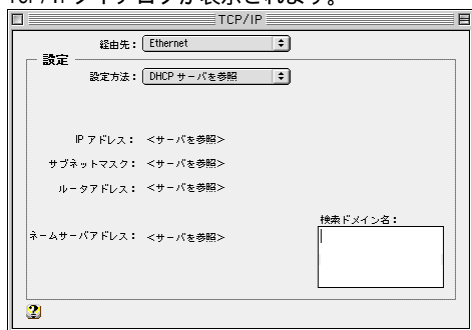
TCP/IPを手動で行う方法についての詳細は、取扱説明書・詳細編「付録 TCP/IP設定」を参照してください。

memo

1台のパソコンをAR100に接続してインターネットを利用する場合、LANアダプターのドライバーおよびTCP/IP以外の設定は不要です。

Macintoshの場合

- 1 コントロールパネルから「TCP/IP」を選択してください。
TCP/IPダイアログが表示されます。



- 2 経由先、設定方法に次の内容を選択した後、ダイアログを閉じてください。

- ・経由先：Ethernet
- ・設定方法：DHCPサーバー*

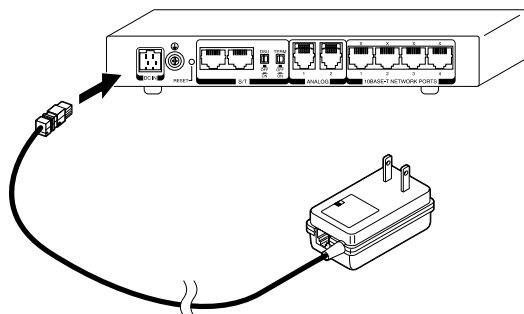
保存の確認ダイアログが表示されます。

- 3 **はい** をクリックしてください。
設定内容が保存され、有効になります。

3 AR100 との接続

1 電源アダプターを接続する

電源アダプターコードを、電源アダプターコード差込口に差し込んでください。



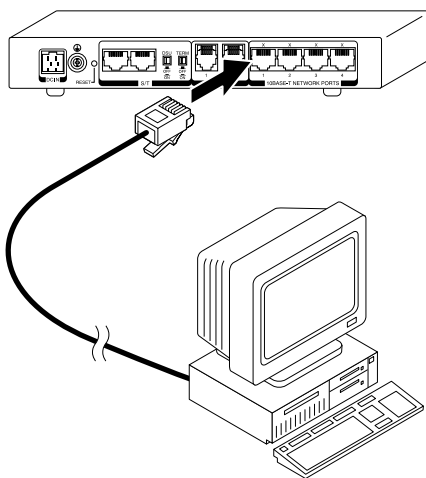
2 パソコンを接続する

注意!! パソコンを接続するための10BASE-Tケーブルは同梱されていません。別途、用意しておいてください。

10BASE-Tケーブルのプラグを10BASE-Tポートに差し込んでください。

10BASE-Tケーブルのもう一方のプラグをパソコンの10BASE-Tポートに差し込んでください。

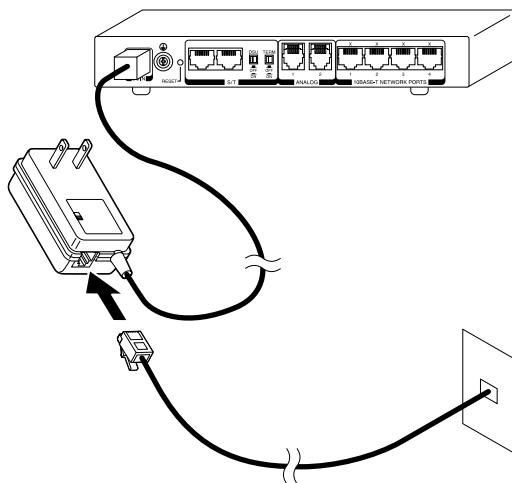
、 の手順を繰り返し、接続するパソコンすべてを本体に接続してください。



3 モジュージャックを接続する

電源アダプターの回線ポートに、同梱されている回線ケーブルのプラグを差し込んでください。

ISDN回線のモジュージャックに、回線ケーブルのもう一方のプラグを差し込んでください。



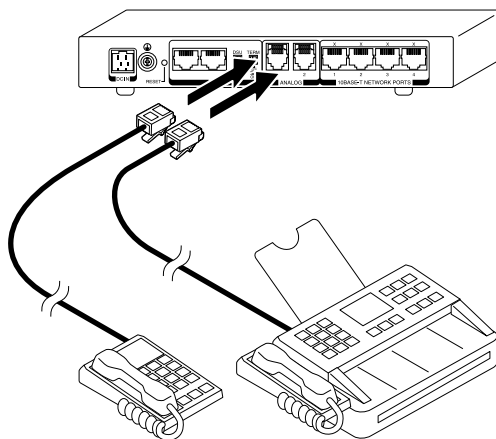
3

4 電話機/FAXを接続する

注意!! PB信号* (トーン音) に設定できる電話機のみ接続することができます。

注意!! 分配器を使用して、複数の電話機をアナログポートに接続することはできません。

電話機/FAXからのケーブルを、アナログポートに差し込んでください。



お願い

強力な電磁波を発生する機器 (電子レンジ、電磁調理器など) のそばで使用しないでください。

強力な電磁波により本体の安全装置が動き、電源がオフになる場合があります。

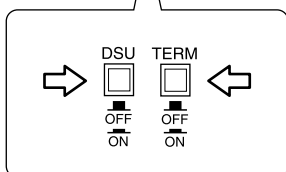
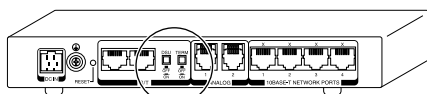
重要な通信 (緊急連絡を必要とするような電話回線など) を行うような回線に本製品をご使用の際は、十分ご注意ください。

- ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると通信ができなくなることがあります (特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・ 放送局や無線局などが近くのとときは、本製品の設置場所を移動してみてください。

5 スイッチ類を確認する

注意!! AR100の終端抵抗切替スイッチが「ON」になっていることを確認してください。

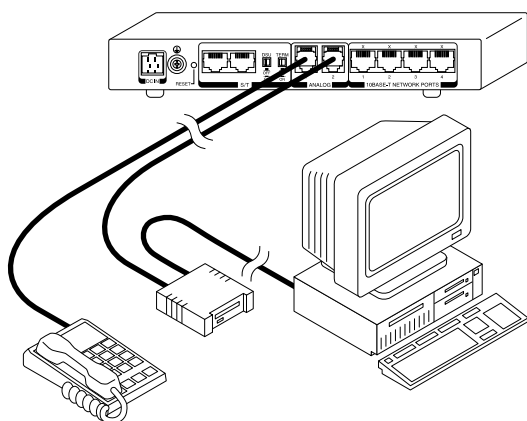
注意!! またDSU切離しスイッチが「ON」になっていることを確認してください。



6 その他の機器を接続する

モデム*を接続する

モデムを接続する場合は、モデムのTELポートに電話機などを接続しないで、単体で使用してください。



memo TA*などモデム以外の機器を接続する場合についての詳細は、取扱説明書・詳細編を参照してください。

- ・TAにAR100を接続する
- ・AR100にTAを接続する
- ・外付けDSUにAR100を接続する
- ・HUBを接続する

7 アース線をアースネジに取り付けてください。

注意!! アース線は同梱されていません。別途用意してください。

注意!! アース線はガス管に接続しないでください。引火や爆発の危険があります。

8 AR100の電源を入れる

AR100の電源を入れて、機器が正常に接続できたかどうかを確認します。

電源アダプタ - をコンセントに挿しこんでください。

POWER LEDが点灯後、



数秒間にわたりPOWERランプ以外のLEDが左右に順次点滅していき



左右に順次
点滅していく

いったんPOWER以外のLEDが消灯して



まもなく、POWER、READY、WAN、およびLANのLEDが点灯します。



注意!! POWER LEDが点灯しない場合

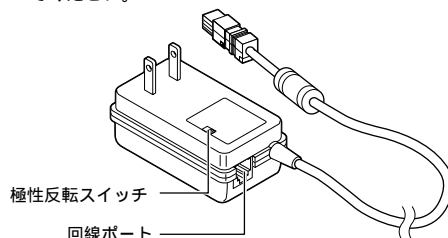
電源アダプターコードがAR100にきっちり接続しているかどうかを確認してください。

接続されているにもかかわらず、POWER LEDが点灯しない場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。(☎ p.47)

注意!! WAN LED、CHECK LEDが点滅している場合

電源アダプターにある、極性反転スイッチを切り替えてみてください。

また、電源アダプターの回線ポートとモジュージャックがきっちり接続しているかどうかを確認してください。



それでも改善されない場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。(☎ p.47)

9 電話が利用できることを確認してください。

アナログポートに接続した電話は、通常の回線につないだときと同様の操作で通話することができます。

注意!! 電話がつかない場合は、機器の接続を再度確認してください。

それでも改善されない場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。(☎ p.47)

4 設定の準備

4-1 プロバイダーとの契約を確認する

AR100を設定するには、下記のプロバイダーとの契約情報が必要となります。

- ・ ユーザID
- ・ ユーザパスワード
- ・ アクセスポイント*の電話番号
- ・ DNSサーバ*のアドレス

memo DNSアドレスを指定する必要のないプロバイダーもあります。

memo 新規に契約する場合

プロバイダーを選択してください。


- ・ 同じ局番の地域にアクセスポイントがあるか
接続先であるアクセスポイントまでの通話料金が課金されるため、極力近くにアクセスポイントを持つプロバイダーを選択してください。
- ・ NAT*を禁止していないか
NATを禁止しているプロバイダーと契約した場合は、複数のパソコンを同時にインターネットに接続することが、契約上できません。

接続形態を選択してください。

「端末型ダイヤルアップ接続」で契約してください。

4-2 パソコンの設定を確認する

1 パソコンの電源をONにしてください。
「DHCPを使用する」設定になっている場合、AR100からIPアドレスが自動的に割り当てられて起動します。

2 スタートメニューから、「 ファイル名を指定して実行(R)...」を選択してください。
ファイル名を指定して実行ダイアログが表示されます。

3 winipcfgと入力し、 をクリックしてください。

IP設定ダイアログが表示されます。

IP設定が正しく行われた場合はIPアドレス等がダイアログに表示されます。



memo IPアドレスが正しく表示されない場合は、次のことを確認してください。

- ・ ケーブルが正しく接続されているか
- ・ TCP/IPの設定が正しいか
- ・ LANアダプターが正しくインストールされているか

memo 「PPP Adapter.」と表示されている場合は、LANアダプターのドライバー名に選択し直してください。

memo

MacintoshでIP設定を確認する

コントロールパネルのTCP/IPを開いてください。


IPアドレス等の設定を参照できます。

DHCPを使用する設定になっている場合は、一度WWWブラウザでAR100にアクセスし、その後でTCP/IPを開いてください。

4-3 WWWブラウザを起動する

次に挙げるいずれかのWWWブラウザを用意してください。

- ・ Microsoft Internet Explorer Ver. 4.0以上
- ・ Netscape Navigator Ver. 3.0以上、
あるいはNetscape Communicator Ver. 4.0以上

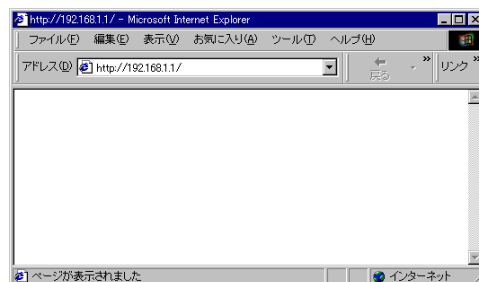
1 「スタート」から「プログラム(P)」-「Internet Explorer」をクリックするか、 をクイック起動してください。



Microsoft Internet Explorerが起動します。

2 下記IPアドレスを入力し、を押してください。

192.168.1.1



ネットワークパスワードの入力ダイアログが表示されます。

2 をクリックしてください。



CentreCOM AR100 Top ページが表示されます。

memo

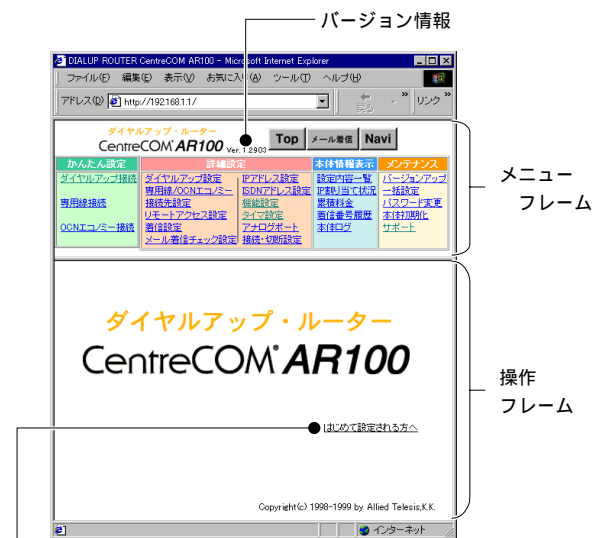
AR100設定を行うユーザーを限定したい場合は、「8-4 パスワードを設定する」(p.36)を参照して、ユーザー名(U)とパスワード(P)を設定してください。

4-4 CentreCOM AR100 Topページの見方

CentreCOM AR100 Topページはメニューフレームと、操作フレームに分かれています。

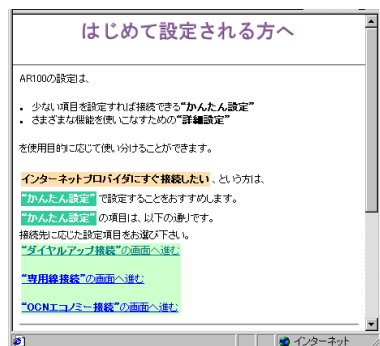
かんたん設定 ではインターネットに接続できる最低限の設定を簡単に行えます。

INSネット64の付加サービスを利用する場合などは、必要に応じて各メニューから設定を行います。



メニューフレームから各メニューをクリックすると、操作フレームに設定ページや関連情報が表示されます。

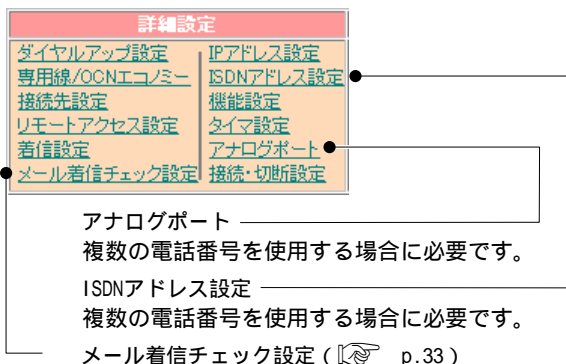
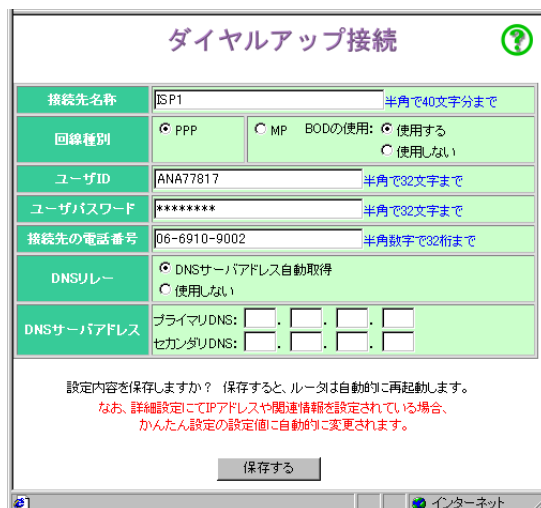
はじめて設定される方へ
使用目的にあった設定をスムーズに行っていただくための情報が表示されます。



- memo** **Top** をクリックすると、どのページが表示されていても、Topページに戻ることができます。
- memo** 各ページ右上にある をクリックするとヘルプページが表示されます。
- memo** 上記で説明している以外のメニューについての詳細は、取扱説明書・詳細編を参照してください。

ダイヤルアップ接続

メニューフレームの **かんたん設定** から「ダイヤルアップ接続」をクリックすると、操作フレームにダイヤルアップ接続の設定ページが表示されます。



アナログポート
複数の電話番号を使用する場合に必要です。

ISDNアドレス設定
複数の電話番号を使用する場合に必要です。

メール着信チェック設定 (p.33)

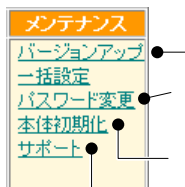
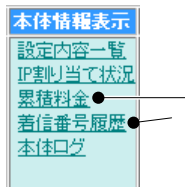
スケジュールを設定し、メールが届いているかどうかのチェックを自動的に行う設定です。

累積料金 (p.31)

電話やFAXのアナログ通信、データ通信別に累積料金が表示されます。

着信番号履歴 (p.32)

電話やFAX等、着信した発信者の番号や種別が表示されます。



ファームウェアの更新 (p.34)
ファームウェアを更新します。

パスワードの設定 (p.36)

IDやパスワードの変更を行います。

本体初期化 (p.35)

設定内容をすべてお買い上げ時の設定に戻します。

サポート (p.34)

AR100ホームページのサポートページが表示されます。また、最新版のファームウェアのダウンロードもできます。

5 インターネットに接続する

ここではかんたん設定メニューから、インターネットに接続する方法を説明します。

- ・ダイヤルアップ接続の設定を行う (p.19)
- ・インターネットへ接続する (p.20)

5-1 ダイヤルアップ接続を行う

memo あらかじめ、プロバイダーから入手した契約内容を明記した資料を用意しておいてください。

- 1 **かんたん設定** から、「ダイヤルアップ接続」をクリックしてください。

ダイヤルアップ接続

接続先名称	ISP1	半角で40文字分まで
回線種別	<input checked="" type="radio"/> PPP <input type="radio"/> MP BODの使用: <input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない	
ユーザID	ANA77817	半角で32文字分まで
ユーザパスワード	*****	半角で32文字分まで
接続先の電話番号	03-5916-3857	半角数字で30桁まで
DNSリレー	<input checked="" type="radio"/> DNSサーバーアドレス自動取得 <input type="radio"/> 使用しない	
DNSサーバーアドレス	プライマリDNS: 172.16.0.1 セカンダリDNS: 172.16.0.2	

設定内容を保存しますか？ 保存すると、ルータは自動的に再起動します。
なお、詳細設定にてIPアドレスや関連情報を設定されている場合、かんたん設定の設定値に自動的に変更されます。

保存する

- 2 設定内容を入力してください。

接続先名称

プロバイダー名称や接続先等、わかりやすい名称を半角40字までで、自由に入力してください。

回線種別

プロバイダーとの契約に基づいて指定してください。

memo 「BODの使用」で「使用する」を選択すると、回線接続中でも電話やFAXを使用することができます。

注意!! BOD機能*を使用するには、通信中着信通知サービスの契約(無料)が必要となります。

ユーザID

プロバイダー指定のユーザIDを入力してください。

ユーザパスワード

プロバイダー指定のユーザパスワードを入力してください。入力した文字は「*」で表示されます。

接続先の電話番号

お近くのプロバイダーのアクセスポイントを、市外局番から入力してください。

DNSリレー*

「DNSサーバーアドレス自動取得」を選択してください。

- 3 設定内容を確認してください。

注意!! ユーザID、ユーザパスワード、接続先の電話番号を誤って入力すると接続されません。

memo DNSアドレスをプロバイダーから指定されている場合は、「使用しない」を選択し、DNSサーバー*アドレスを入力してください。

DNSリレー	<input checked="" type="radio"/> DNSサーバーアドレス自動取得 (使用しない)
DNSサーバーアドレス	プライマリDNS: 172.16.0.1 セカンダリDNS: 172.16.0.2

- 4 **保存する** をクリックしてください。

ダイヤルアップ接続

接続先名称	ISP1	半角で40文字分まで
回線種別	<input checked="" type="radio"/> PPP <input type="radio"/> MP BODの使用: <input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない	
ユーザID	ANA77817	半角で32文字分まで
ユーザパスワード	*****	半角で32文字分まで
接続先の電話番号	03-5916-3857	半角数字で30桁まで
DNSリレー	<input checked="" type="radio"/> DNSサーバーアドレス自動取得 <input type="radio"/> 使用しない	
DNSサーバーアドレス	プライマリDNS: 172.16.0.1 セカンダリDNS: 172.16.0.2	

設定内容を保存しますか？ 保存すると、ルータは自動的に再起動します。
なお、詳細設定にてIPアドレスや関連情報を設定されている場合、かんたん設定の設定値に自動的に変更されます。

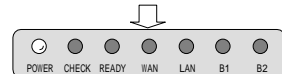
保存する

数秒間にわたりPOWERランプ以外のLEDが左右に順次点滅していき、



左右に順次点滅していく

いったんPOWER以外のLEDが消灯して



まもなくPOWER、READY、WAN、およびLANのLEDが点灯します。




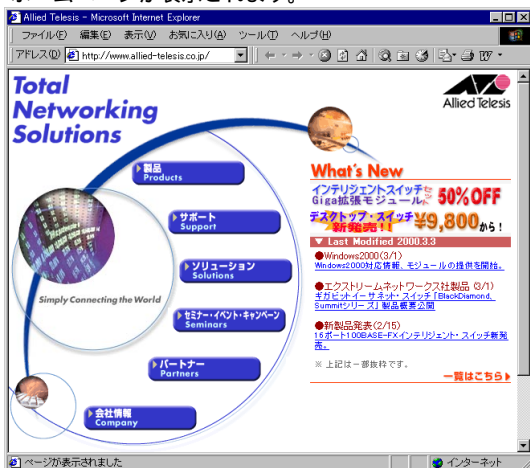
- 5 POWER、READY、WAN、およびLANのLEDが点灯したのを確認後、パソコンを再起動してください。再起動することにより、IPアドレスなどのネットワーク設定がパソコンに割り当てられ、インターネットへの接続設定は完了です。

5-2 インターネットに接続する

設定が完了したら、次のことを確認してください。

- ・インターネットに接続できる
 - ・インターネット接続後、回線が自動的に切断される
- ここでは、弊社のホームページへのアクセスを例に説明します。

- 1 WWWブラウザを起動して、下記弊社のホームページアドレスを入力し、を押してください。
http://www.allied-teleasis.co.jp
ホームページが表示されます。



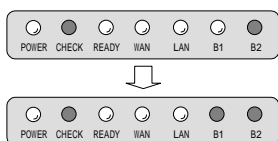
注意!! エラーメッセージが表示される場合は、前ページで行った設定をやり直してみてください。
それでも改善されない場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。(p.47)

また、同時にAR100前面にあるB1 LEDが点灯します。



memo MP接続機能を使用している場合は、B1およびB2 LEDが点灯します。

- 2 通信終了後、約60秒経過後にB1 LED(ランプ)が点灯することを確認してください。



インターネットへの接続が自動的に切断されます。

memo MP接続機能を使用している場合は、B1およびB2 LEDが点灯します。

memo

通信終了後の自動切断について

お買い上げ時の設定では通信終了から60秒経過後に、自動的に切断されます。

memo

回線切断までの経過時間を変更したい

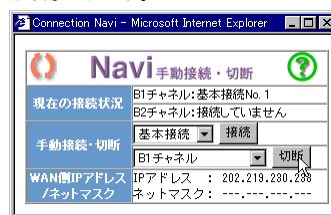
詳細設定 から「**タイマ設定**」を選択し、**非通信時切断タイマ** の設定時間を変更してください。



memo

通信を手動で切断したい


Navi をクリックするとConnection Naviダイアログが表示されます。



切断 をクリックしてください。

通信が切断されます。

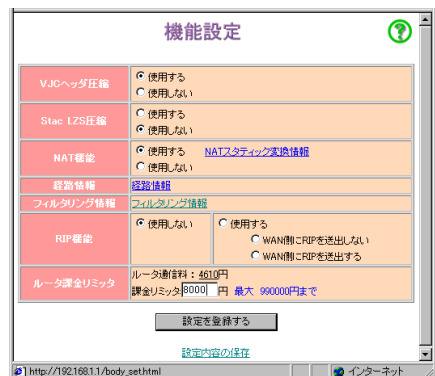
 をクリックすると情報が更新されます。

 をクリックするとヘルプページが表示されます。

memo

通信の利用限度額を設定したい

詳細設定 から「**機能設定**」を選択し、**ルータ課金リミッタ** の課金リミッタに限度額を入力してください。



6 電話機/FAX を使う

ここでは次の使用方法について説明します。

- ・ 電話/FAXをかける・受ける (☞ p.21)
- ・ 電話とFAXで別々の電話番号を使う (☞ p.21)
- ・ キャッチホン機能を使う (☞ p.24)
- ・ 相手によって着信音を変える (☞ p.26)
- ・ もう一方の電話/FAXに転送する (☞ p.28)
- ・ 別の電話番号に転送する (☞ p.29)
- ・ 自動的に別の電話番号に転送する (☞ p.30)

memo 三者通話など、アナログ電話の使い方を一覧できる「電話操作早見表」を付録に掲載しています。
(☞ p.40)

6-1 電話/FAXをかける・受ける

ダイヤル式電話機以外の、アナログ回線用プッシュ式電話機やFAXを使って、従来と同じかけ方・受け方で利用することができます。

注意!! 発信までに約4秒かかります。
ダイヤルを押してから発信するまでに約4秒間の待ち時間があります。
すぐに発信したい場合は、電話番号の後に $\#$ を押してください。
また、ダイヤル中に4秒程の間をおくとダイヤル中でも発信してしまいます。

memo いったん電話を切ったあとすぐに電話をかける場合は、受話器を置いてから2秒以上経ってから受話器を取りあげ、ダイヤルしてください。



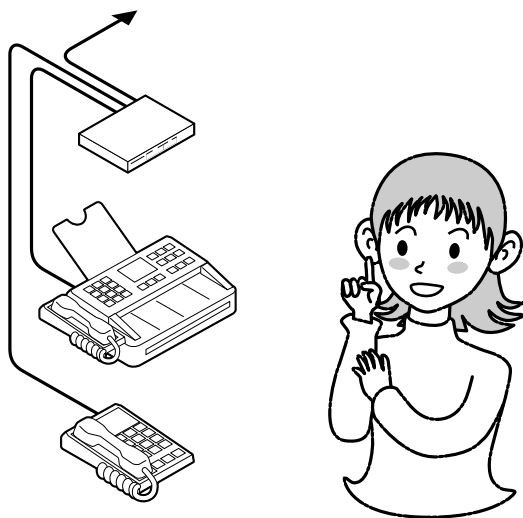
6-2 別々の番号を使用する (電話/FAX)

電話とFAXで別々の番号を使用するには、次のINSネット64付加サービスのどちらかに加入する必要があります。

- ・ i・ナンバーを利用する (☞ p.22)
月額：300円(2000年3月現在)
追加できる電話番号：1
- ・ INSダイヤルインサービスを利用する (☞ p.23)
月額：900円につき1つの電話番号(2000年3月現在)
i・ナンバーに比べ、2つ以上の番号が取得できる等の、より高度な機能を持っています。

それぞれの機器に番号を割り当てることにより、外からの着信を鳴り分けることができます。

注意!! 代表電話やINSダイヤルインサービスを契約している場合、i・ナンバーを利用できません。



ここでは、以下の設定を前提に説明します。

- アナログポート1：電話機 (契約電話番号)
- アナログポート2：FAX (追加番号)

memo 通話時のボリュームを調整することができます。(☞ p.36)

memo FAXの操作方法についての詳細は、付属の取扱説明書を参照してください。

memo 1つの電話番号で電話とFAXを接続すると、AR100では着信時に電話とFAXを判別できないため、運用には注意が必要です。
INSネット64の付加サービスである「i・ナンバー」または「ダイヤルイン」を利用されることをお勧めします。(☞ p.22)

memo サブアドレスについての詳細は、取扱説明書・詳細編「付録 アナログ機器を使う」を参照してください。

i・ナンバーを利用する

注意!! あらかじめi・ナンバー契約(有料)を行ってください。
設定には、契約時に取得したi・ナンバー追加番号が必要です。

1 i・ナンバーの追加番号を設定する

詳細設定 の「ISDNアドレス設定」をクリックしてください。

契約電話番号 に、INSネット64に契約している番号を市外局番から入力してください。
()や- “ハイフン” を付けることができます。

i・ナンバー追加番号 に、NTTから通知された番号を市外局番から入力してください。

()や- “ハイフン” を付けることができます。

設定を登録する をクリックしてください。
設定が保存されます

2 契約電話番号の設定を行う

各ポート毎の設定 の「アナログポート1の設定」をクリックしてください。

グローバル着信 は「する」を指定してください。

注意!! アナログポート1、2ともグローバル着信を「する」に設定してください。

ダイヤルイン/トナリナンバー は「i・ナンバーを使用する」を指定し、プルダウンメニューから発信方法を選択してください。

memo 次の運用方法では、それぞれのアナログポートで電話番号を変えて利用することが一般的です。

アナログポート1：電話機

アナログポート2：FAX

この場合、以下の設定を行うことにより、電話とFAXを別々の番号で使うことができます。

アナログポート1：契約電話番号で着信 / 発信

アナログポート2：追加番号で着信 / 発信

契約電話番号の通知 は次のいずれかを指定してください。

回線契約による . INSネット64契約時の設定になります。
 する 契約内容にかかわらず契約電話番号が通知されます。
 しない 契約内容にかかわらず契約電話番号が非通知となります。

注意!! 契約電話番号の通知を発信時に随時変更するには
電話番号をダイヤルした後、次の番号を押すことで、
通知・非通知を発信時に変更することができます。
 ・契約電話番号を通知する ① ③ ⑥
 ・契約電話番号を通知しない ① ③ ④

設定を登録する をクリックしてください。
設定が保存されます。

注意!! **設定を登録する** をクリックしないでページを移動すると設定内容が保存されません。

設定内容の保存 をクリックしてください。
確認ページが表示されますので **保存する** をクリックしてください。
機器の再起動が行われ設定内容が反映されます。

注意!! **保存する** をクリックしない場合は設定内容が動作に反映されません。

INSダイヤルインサービスを利用する

注意!! あらかじめINSダイヤルインサービス契約(有料)を行ってください。
設定には、契約時に取得した追加番号が必要です。

1 契約電話番号を設定する

詳細設定 の「**ISDNアドレス設定**」をクリックしてください。

契約電話番号 に、INSネット64に契約している番号を市外局番から入力してください。
()や-“ハイフン”を付けることができます。

設定を登録する をクリックしてください。
設定が保存されます

2 アナログポート1の設定を行う

アナログポート1には契約番号を設定します。

各ポート毎の設定 の「**アナログポート1の設定**」をクリックしてください。

グローバル着信 は「する」を指定してください。

memo 契約番号で着信したい場合には、グローバル着信は「する」を指定してください。

ダイヤルインノ・ンバー は「設定しない」を指定してください。

契約電話番号の通知 を指定してください。

(p.22)

設定を登録する をクリックしてください。
設定内容が保存されます。

「**ISDNアドレス設定に戻る**」をクリックしてください。
ISDNアドレス設定ページに戻ります。

3 アナログポート2の設定を行う

各ポート毎の設定 の「**アナログポート2の設定**」をクリックしてください。

アナログポート2設定ページが表示されます。

グローバル着信 は「しない」を指定してください。

memo アナログポート1、2ともにグローバル着信を「する」に設定した場合、契約電話番号にかかってきた電話はアナログポート1、2に接続した機器の両方に着信します。

ダイヤルインノ・ンバー は「ダイヤルイン番号を設定する」を選択し、ダイヤルイン番号を入力してください。

契約電話番号の通知 を指定してください。

(p.22)

設定を登録する をクリックしてください。
設定が保存されます。

注意!! **設定を登録する** をクリックしないでページを移動すると設定内容が保存されません。

設定内容の保存 をクリックしてください。

確認ページが表示されますので **保存する** をクリックしてください。

機器の再起動が行われ設定内容が反映されます。

注意!! **保存する** をクリックしない場合は設定内容が動作に反映されません。

6

6-3 キャッチホン機能を使う

キャッチホン機能のことをINSではコールウェイトイングと呼びます。

コールウェイトイングは、INS付加サービスであるフレックスホン（有料）の一部です。

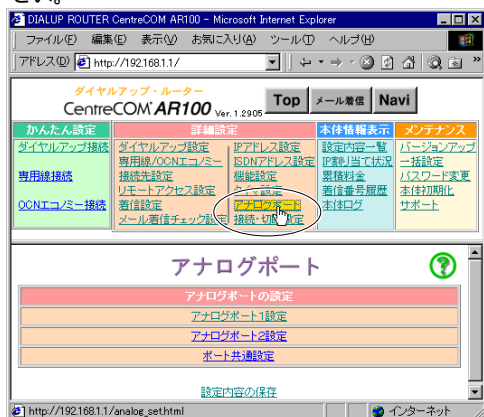
それに対して擬似コールウェイトイング機能は、フレックスホンサービスに加入せずに、AR100で類似の機能を実現します。

コールウェイトイングを利用する

注意!! あらかじめフレックスホン契約(有料)を行い、コールウェイトイングを利用できるようにしてください。

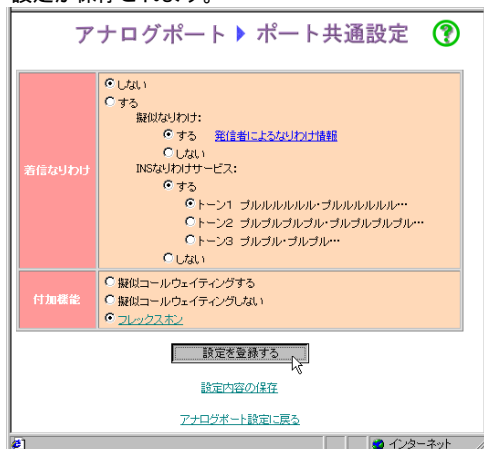
1 コールウェイトイングを設定する

詳細設定 の「アナログポート」をクリックしてください。



アナログポートの設定 から「ポート共通設定」をクリックしてください。

付加機能 から「フレックスホン」のラジオボタンをクリックし、**設定を登録する** をクリックしてください。設定が保存されます。



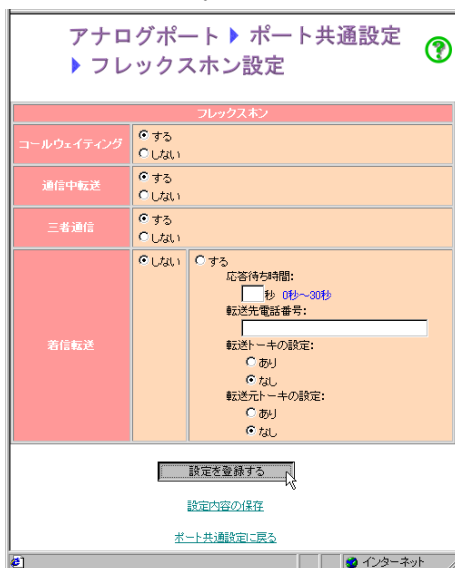
付加機能 から「フレックス」をクリックしてください。

フレックスホン設定ページが表示されます。

コールウェイトイング を「する」に設定し、

設定を登録する をクリックしてください。

設定が保存されます。



「設定内容の保存」をクリックしてください。

確認ページが表示されますので **保存する** をクリックしてください。

機器の再起動が行われ設定内容が反映されます。

2 コールウェイトイングを使う

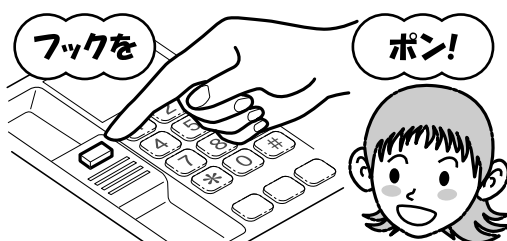
通話中に別の電話がかかってきた場合、ブープーという呼び出し音が聞こえます。

フックボタン(又はキャッチボタン)をポンと押してください。

後からかかってきた電話に切り替わり、最初の電話の相手は無音になります。

最初の電話の相手に切り替える場合は、再度フックボタン(又はキャッチボタン)をポンと押してください。

注意!! フックボタンを長く(1秒以上)押しすぎると電話が切れることがあります。



擬似コールウェーティングを利用する

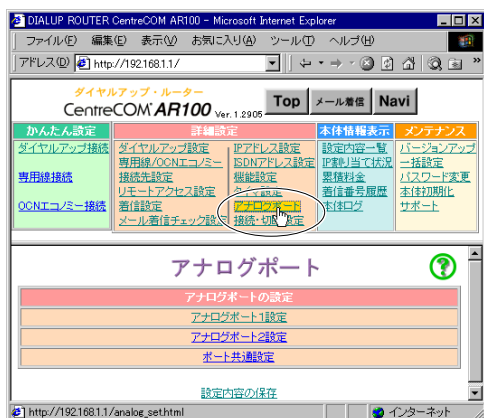
ISDNが2回線分使用できることを利用して、1回線目で通話中に2回線目にかかってきた電話をキャッチホンと同等の操作で切り替えて通話できる機能です。

注意!! 2回線ともふさがっている時には、擬似コールウェーティングは機能しません。

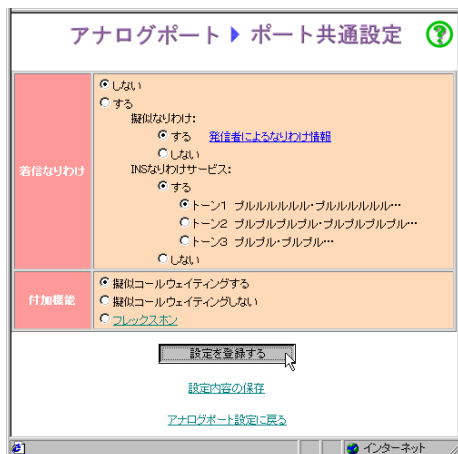
1 擬似コールウェーティングを設定する

「**詳細設定**」の「**アナログポート**」をクリックしてください。アナログポート設定ページが表示されます。

「**アナログポートの設定**」から「**ポート共通設定**」をクリックしてください。



「**付加機能**」から「**擬似コールウェーティングする**」をクリックし、次に「**設定を登録する**」をクリックしてください。設定が保存されます。



注意!! アナログポートにFAXを接続してお使いになる場合、「擬似コールウェーティングしない」に設定するか、フックスホンのコールウェーティング機能をご利用ください。「擬似コールウェーティングしない」に設定した場合、FAXを電話で受けたときにFAXへの転送ができませんので、FAX専用端末をお使いの場合には、サブアドレスの設定や、ダイヤルイン、i・ナンバーによる鳴り分け機能をご利用ください。

「**設定内容の保存**」をクリックしてください。

確認ページが表示されますので「**保存する**」をクリックしてください。

機器の再起動が行われ設定内容が反映されます。

2 擬似コールウェーティングを使う

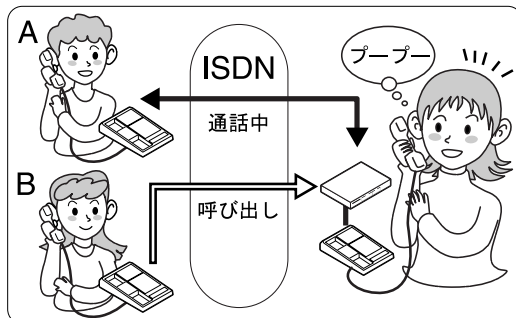
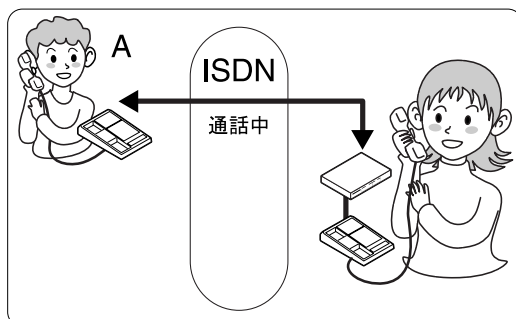
通話中に別の電話がかかってきた場合、プープーという呼び出し音が聞こえます。

フックボタン(又はキャッチボタン)をポンと押してください。

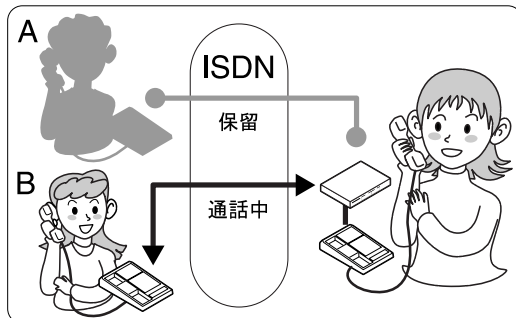
後からかかってきた電話に切り替わり、最初の電話の相手は無音になります。

最初の電話の相手に切り替える場合は、再度フックボタン(又はキャッチボタン)をポンと押してください。

注意!! フックボタンを長く(1秒以上)押しすぎると電話が切れることがあります。



フックを「ポン！」



6-4 相手によって着信音を変える

電話をかけてきた相手先電話番号を元に、着信音を変えることができます。

INSなりわけサービスを利用する方法と、発信者番号通知を利用した擬似なりわけが利用できます。

INSなりわけサービスを利用する

あらかじめNTTに登録した電話番号からの着信音を、他の電話番号からの着信音とは違った音で鳴らすことのできるサービスです。

着信音は3種類の中から選べます。

注意!! あらかじめINSなりわけサービス契約(有料)を行ってください。

1 INSなりわけサービスを設定する

詳細設定 の「**アナログポート**」をクリックしてください。

アナログポート設定ページが表示されます。

アナログポートの設定 から「**ポート共通設定**」をクリックしてください。

ポート共通設定ページが表示されます。

着信なりわけを「**する**」に、INSなりわけサービスも「**する**」に設定してください。

トーン音を3種類のなかから選択してください。

memo NTTに登録した電話番号から電話がかかってきた場合に、ここで設定した着信音が鳴ります。

設定を登録する をクリックしてください。
設定が保存されます。

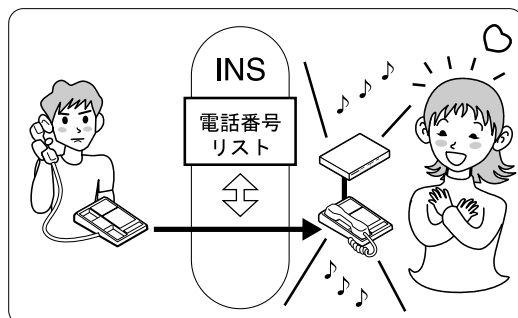
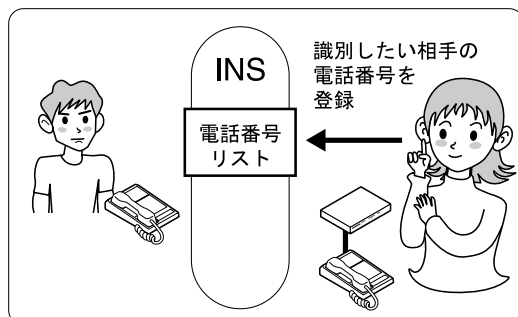
「**設定内容の保存**」をクリックしてください。

確認ページが表示されますので **保存する** をクリックしてください。

機器の再起動が行われ設定内容が反映されます。

memo なりわけ対象電話番号の登録

- (1) ①、④、⑦をダイヤルしてください。
- (2) アナウンスに従って②を、続いて⑧をダイヤルしてください。
- (3) なりわけたい電話番号と、それに続けて⑧をダイヤルしてください。



擬似なりわけサービスを利用する

INSネット64の発信者番号通知サービスを利用し、あらかじめAR100に登録しておいたなりわけ情報をもとに着信音をなりわけます。

注意!! アナログ電話回線からの電話に対してなりわけをした場合は、あらかじめINSナンバーディスプレイ契約(有料)を行ってください。
ただし、AR100には着信した電話の番号を表示させる機能はありません。

1 擬似なりわけを設定する

詳細設定 の「**アナログポート**」をクリックしてください。

アナログポート設定ページが表示されます。

アナログポートの設定 から「**ポート共通設定**」をクリックしてください。

着信なりわけを「する」に、擬似なりわけも「する」に設定してください。

設定を登録する をクリックしてください。

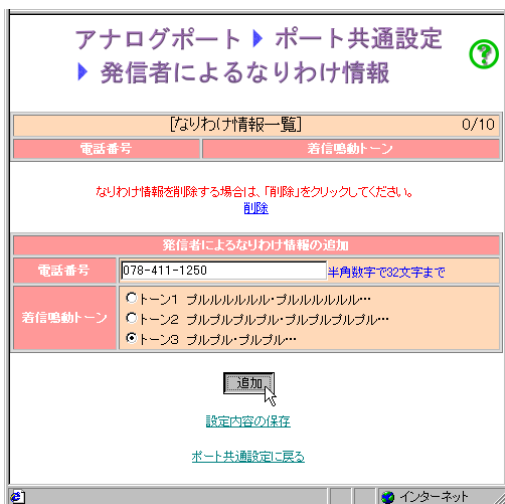
設定が保存されます。

「発信者によるなりわけ情報」をクリックしてください。
発信者によるなりわけページが表示されます。

電話番号の欄に着信音を設定したい電話番号を入力し、着信鳴動トーンを選択してください。

追加 をクリックしてください。

なりわけ情報一覧に設定が追加されます。



、を繰り返して、なりわけたい電話番号を登録してください。

memo 設定できる電話番号は10箇所までです。

「設定内容の保存」をクリックしてください。

確認ページが表示されますので **保存する** をクリックしてください。

機器の再起動が行われ設定内容が反映されます。

2 なりわけ情報を削除する

詳細設定 の「**アナログポート**」をクリックしてください。

アナログポート設定ページが表示されます。

アナログポートの設定 から「**ポート共通設定**」をクリックしてください。

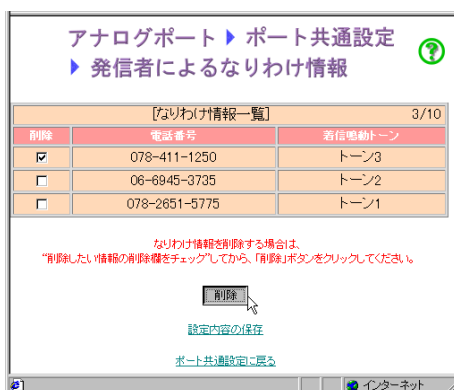
ポート共通設定ページが表示されます。

「発信者によるなりわけ情報」をクリックしてください。
発信者によるなりわけページが表示されます。

削除 をクリックしてください。

削除したいなりわけ情報を選択し、**削除** をクリックしてください。

選択したなりわけ情報が削除されます。



「設定内容の保存」をクリックしてください。

確認ページが表示されますので **保存する** をクリックしてください。

機器の再起動が行われ設定内容が反映されます。

6

6-5 もう一方の電話/FAXに転送する

通話中の電話をもう一方のアナログポートに転送することができます。

AR100に電話機とFAXを接続している場合に、『電話側にかかってきたFAXをもう一方のアナログポートに接続されたFAXに転送する。』

AR100に電話機を2台接続し親子電話として使用している場合に、『田舎のおばあちゃんからの電話を子供部屋に転送する。』

といった使い方ができます。

注意!! ISDN回線が2回線とも使用されている場合や、「疑似コールウェーティングしない」に設定されている場合には、本機能は利用できません。

1 もう一方のアナログポートに電話を転送する
通話中にフックボタン(またはキャッチボタン)をボンと押します。

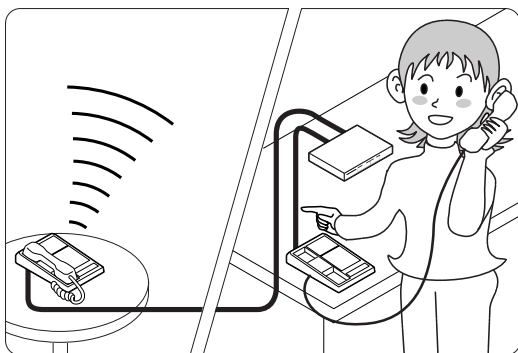
「ツー」という発振音が聞こえます。



※、①、② とダイヤルしてください。

呼び出し音が聞こえます。

(もう一方のアナログポートにつながった電話/FAXのベルが鳴ります。)



相手が受話器を取ったら受話器を置いてください。
転送が完了します。

memo 相手が通話中や電話に出ない場合はもう一度フックボタン(またはキャッチボタン)をボンと押してください。元の相手とつながります。



6-6 別の電話番号に転送する

NTTのサービスの1つである通信中転送を利用して、かかってきた電話を別の電話番号に転送することができます。

『たとえば田舎のおばあちゃんからの電話を下宿先の息子に転送する。』といった使い方ができます。

注意!! あらかじめフレックスホンサービスの「通信中転送」契約(有料)を行ってください。

1 通信中転送を設定する

詳細設定 の「**アナログポート**」をクリックしてください。

アナログポート設定ページが表示されます。

アナログポートの設定 から「**ポート共通設定**」をクリックしてください。

ポート共通設定ページが表示されます。

付加機能 から「**フレックスホン**」のラジオボタンをクリックし、**設定を登録する** をクリックしてください。

「**フレックスホン**」をクリックしてください。

アナログポート ▶ ポート共通設定
▶ フレックスホン設定

フレックスホン	
コールウェイトイング	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
通信中転送	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
三者通信	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
着信転送	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する 応答待ち時間: 0秒~30秒 転送先電話番号: <input type="text"/> 転送トーンの設定: <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし 転送元トーンの設定: <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

設定を登録する
設定内容の保存
ポート共通設定に戻る

通信中転送 から「**する**」をクリックし、**設定を登録する** をクリックしてください。

「**設定内容の保存**」をクリックしてください。
確認ページが表示されますので **保存する** をクリックしてください。

機器の再起動が行われ設定内容が反映されます。

2 通信中転送を使う

別の電話番号に電話を転送する場合、通話中にフックボタン(またはキャッチボタン)をポンと押してください。

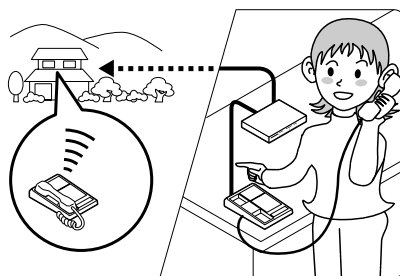
「ツー」という発振音が聞こえます。



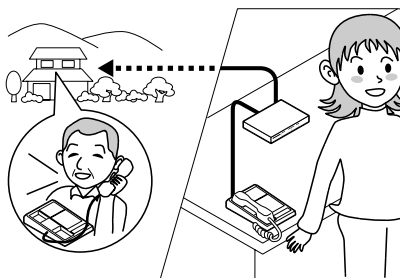
転送先の電話番号をダイヤルしてください。

呼び出し音が聞こえます。

(転送先の電話/FAXのベルが鳴ります。)



相手が受話器を取ったら受話器を置いてください。
転送が完了します。



memo 相手が通話中や電話に出ない場合はもう一度フックボタン(またはキャッチボタン)をポンと押してください。元の相手とつながります。

memo 通信中転送は、NTTが行っているINS付加サービスである「フレックスホンサービス」(有料)の一つで、着信を受けた相手との通信を保留にして第三者に電話をかけ、保留中の相手と第三者との通話を可能にします。この際、受話器を置いても二者の通信は切断されません。
ただし、通話に参加しない場合も通信料金を負担することになります。

6-7 自動的に別の電話番号に転送する

NTTのサービスの1つである着信転送を利用して、かかってきた電話を別の電話番号に転送することができます。

たとえば『外出中にかかってきた電話を携帯電話に転送する。』といった使い方ができます。

また転送時に音声メッセージを流すこともできます。

注意!! あらかじめフレックスホンサービスの「着信転送」契約(有料)を行ってください。

注意!! 転送先に特殊番号(フリーダイヤル等)を指定することはできません。

1 着信転送を設定する

詳細設定 の「**アナログポート**」をクリックしてください。

アナログポート設定ページが表示されます。

アナログポートの設定 から「**ポート共通設定**」をクリックしてください。

ポート共通設定ページが表示されます。

付加機能 から「**フレックスホン**」のラジオボタンをクリックし、**設定を登録する** をクリックしてください。

「**フレックスホン**」をクリックしてください。

フレックスホン設定ページが表示されます。

着信転送 から「**する**」をクリックしてください。

着信転送関連の各種設定を行ってください。

DIALUP ROUTER CentreCOM AR100 - Microsoft Internet Explorer
アドレス http://192.168.1.1/
アナログポート > ポート共通設定 > フレックスホン設定
フレックスホン
コールウェーティング ☐ する ☐ しない
通信中転送 ☒ する ☐ しない
三着連絡 ☒ する ☐ しない
着信転送 ☒ する
応答待ち時間: 5 秒 0秒~30秒
転送先電話番号: 070-5433-1828
転送トークンの設定: ☒ あり ☐ なし
転送元トークンの設定: ☒ あり ☐ なし
設定を登録する
設定内容の保存
ポート共通設定に戻る

応答待ち時間:

着信から転送するまでの時間を設定してください。

転送までは着信音が鳴り、受話器をあげると転送を中止して、通話することができます。

設定時間: 0秒~30秒

転送先電話番号:

転送先の電話番号を入力します。

市外局番を含めた電話番号を入力してください。

入力時に、“-”(ハイフン)、“(”、“)”を入力することが可能です。

転送トークンの設定:

「あり」とした場合、発信者に『ただいま電話を転送しますので、そのまましばらくお待ちください。』の音声メッセージを流します。

・転送元トークンの設定:

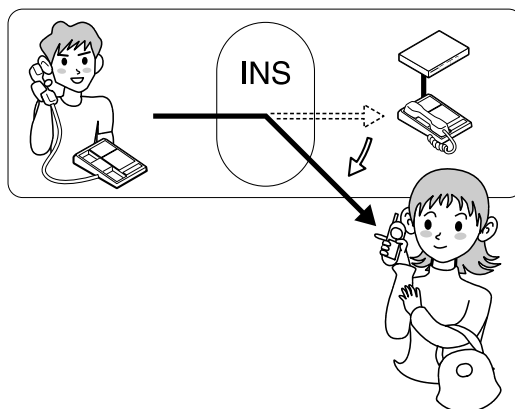
「あり」とした場合、転送先に『電話が転送されます。』の音声メッセージを流します。

設定を登録する をクリックしてください。

「**設定内容の保存**」をクリックしてください。

確認ページが表示されますので **保存する** をクリックしてください。

機器の再起動が行われ設定内容が反映されます。



7 情報を表示する

ここでは次の表示方法について説明します。

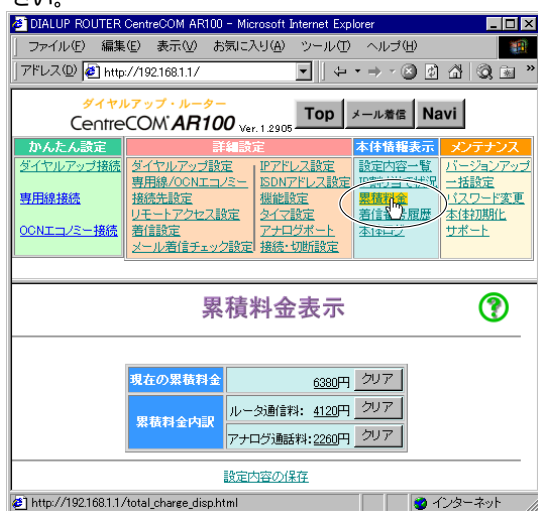
- ・ 累積料金を表示する (👉 p.31)
- ・ 着信番号履歴を表示する (👉 p.32)

7-1 累積料金を表示する

AR100を最初に起動した時点、もしくは累積料金のクリアを行った時点からの通話料金の累積を参照できます。これにより異常な課金がないかをチェックできます。

1 累積料金の表示

本体情報表示 から「累積料金」をクリックしてください。



累積料金の内訳を確認できます。

ルータ通信料：

インターネットに接続するために使用したINS回線の利用料

アナログ通話料：

アナログポートに接続された電話 / FAXによる通話の利用料

memo

料金表示はINSの基本サービスである「料金情報通知サービス」に基づいて表示されています。
なお、このサービスを利用するための追加契約は不要です。

2 累積料金のクリア

本体情報表示 から「累積料金」をクリックしてください。

累積料金表示ページが表示されます。

クリアしたい累積料金の **クリア** をクリックしてください。

料金表示が「0」になります。

「設定内容の保存」をクリックしてください。

確認ページが表示されますので **保存する** をクリックしてください。

AR100が再起動し、累積料金のクリアが反映されます。

7-2 着信番号履歴を表示する

AR100に着信した電話の発信者番号と種別が表示されます。表示される情報は過去10件までです。10件を超えた場合は、古いものから順次新しい情報と入れ替えられます。

memo 本機能はINS基本機能である発信者番号通知を利用しているため、アナログ電話からの着信に関しては電話番号表示ができません。
アナログ電話からの着信も電話番号表示したい場合は、あらかじめINSナンバーディスプレイサービス契約(有料)を行ってください。

1 着信番号履歴を表示する

「**本体情報表示**」から「**着信番号履歴**」をクリックしてください。

着信した最新情報を10件まで確認できます。



相手の電話番号	種 別
相手がINSの場合は、電話番号が表示されます。	通信機器の種別が表示されます。
INSナンバー・ディスプレイサービスを契約している場合は、相手がINSでなくても「番号を通知する」設定にしていれば、電話番号が表示されます。	非制限 デジタル
それ以外は「番号なし」と表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・TA ・ルーター ・G4 FAX
	電話
	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話 ・PHS ・デジタル電話機
	3.1K オーディオ
	アナログ網 <ul style="list-style-type: none"> ・アナログ電話機 ・G3 FAX ・モデム

2 着信番号履歴を消す

「**本体情報表示**」から「**着信番号履歴**」をクリックしてください。

着信番号履歴表示ページが表示されます。

「**クリア**」をクリックしてください。

これまでの着信情報履歴がすべて消去されます。

「**設定内容の保存**」をクリックしてください。

確認ページが表示されますので「**保存する**」をクリックしてください。

AR100が再起動し、着信情報履歴のクリアが反映されます。

8 その他の設定

8-1 メール着信を確認する

「メール着信チェック機能」では、パソコンを起動させないでメール着信の有無を調べることができます。

注意!! メール着信チェックを行うと、定期的にプロバイダーへ接続を行うため、通話料およびプロバイダーへの接続料(従量制の場合)がそのたびに課金されます。

memo メールチェックは、接続先に設定しているプロバイダーのメールサーバーに対してのみ可能です。

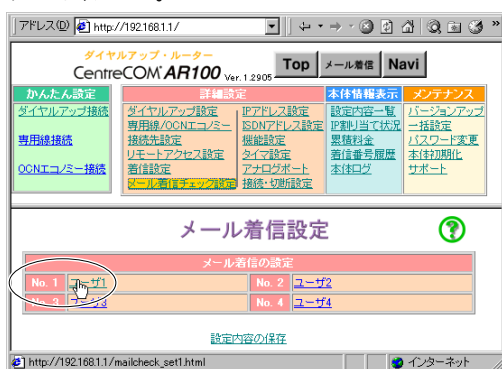
memo 4つまでのメールアカウントに対して設定できます。

1 メール着信チェック設定を行う

「詳細設定」から「メール着信チェック設定」をクリックしてください。

メール着信ページが表示されます。

「メール着信の設定」から「No.1」の「ユーザ1」をクリックしてください。



次の設定を行ってください。

メール着信設定 ▶ メール着信チェック設定

ユーザ名称	Mall	半角で40文字分まで
接続先指定	特に指定しない	
POP3サーバ名	mx4.ttcn.ne.jp	半角で64文字分まで
ユーザID	ttt3eud252	半角で32文字分まで
ユーザパスワード	*****	半角で32文字分まで
LED設定	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない	
メール着信チェック	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない	
チェック間隔	60 分 5~9999分	

設定を登録する

設定内容の保存

メール着信設定に戻る

ユーザ名称： 覚えやすい名称を入力してください。

接続先指定： 接続先が限定されている場合は、「特に指定しない」を指定してください。

POP3サーバ名： プロバイダーから通知されたPOP3サーバー(メールサーバー)のドメインアドレスを入力してください。

ユーザID： メール受信用のIDを入力してください。

ユーザパスワード： メール受信用のパスワードを入力してください。

LED設定： 「はい」を選択すると、メールが着信した時点でREADY LEDが点滅します。

メール着信チェック： 通常は「する」を選択してください。

チェック間隔： メール着信をチェックする間隔を指定してください。

「設定を登録する」をクリックしてください。

設定内容が保存されます。

「設定内容の保存」をクリックしてください。

確認ページが表示されますので「保存する」をクリックしてください。

機器の再起動が行われ設定内容が反映されます。

2 メール着信をLEDで確認する

AR100の前面を見てください。

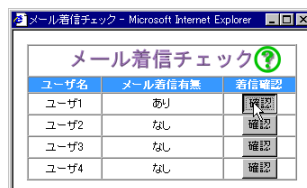
READYが点滅していればメールがプロバイダーのメールサーバーに着信しています。



3 メール着信をWWWブラウザで確認する

メニューフレームの「メール着信」をクリックしてください。

メール着信チェックウィンドウが開かれます。



メールが着信していれば、該当するユーザ名のメール着信有無欄に「あり」と表示されます。

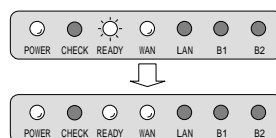
memo チェック間隔で指定した時間毎に自動的にプロバイダーに接続してメール着信をチェックし、メールが着信していればREADYが点滅します。



注意!! メール着信チェック設定を行った後、チェック間隔で指定した時間が経過した時点で最初のメール着信チェックが行われます。

「確認」をクリックしてください。

メール着信有無欄の表示が「あり」から「なし」になり、READYが点滅から点灯に戻ります。



8-2 ファームウェアを更新する

AR100の機能強化や不具合改善のためにファームウェアの更新を行っていただくことがあります。

memo 最新ファームウェアにある機能を使いたい場合や、何らかの不具合を改善したい場合以外では、バージョンアップは不要です。

ファームウェアを入手する

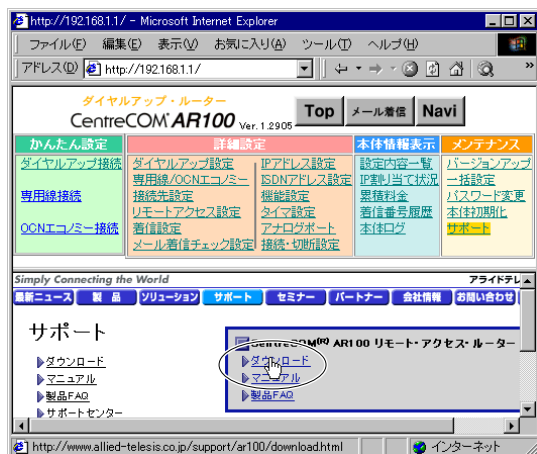
1 ホームページから入手する

注意!! あらかじめ、AR100本体の底面に貼付されているラベルに記載されているシリアル番号をメモしておいてください。
ダウンロード時に必要となります。(☞ p.10)

メンテナンス から「サポート」をクリックした後、**Support** をクリックしてください。

弊社ホームページのAR100サポートページが表示されます。

「ダウンロード」をクリックしてください。



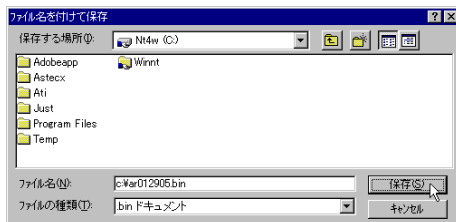
Support Down Loadページが表示されます。

サービスメニュー のファームウェアから **CLICK HERE** をクリックしてください。

ファームウェア・バリエーション ページが表示されます。

memo 使用中のファームウェアのバージョンは？
CentreCOM AR100 Topページのメニューフレームにある **Top** ボタン左に表示されています。

変更内容を検討し、必要があれば表示に従いダウンロードし、ハードディスクに保存してください。



2 フロッピーディスクで入手する

下記弊社カスタマー・マーケティングまでお問い合わせください。

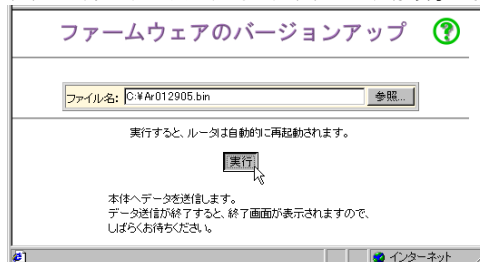
(TEL.0120-860-442、9:00～17:30/月～金)

実費にて最新ファームウェアのフロッピーディスクをご提供いたします。

バージョンアップする

メンテナンス から「バージョンアップ」をクリックしてください。

ファームウェアのバージョンアップページが表示されます。



参照... をクリックしてください。

ファイルの選択ダイアログが表示されます。

入手したファームウェアを指定して **開く** をクリックしてください。

ファイル名欄にファームウェアのファイル名が入ります。

実行 をクリックしてください。

ファームウェアがAR100に転送された後、自動的に再起動し新しいファームウェアでAR100が動作します。

注意!! 転送(ダウンロード)には10～15分かかります。
その間は絶対に電源をOFFにしないでください。また、実行ボタンは一度だけクリックしてください。何度もクリックすると、ファームウェアが正常に転送できません。

注意!! バージョンアップに失敗した場合
リセットスイッチによる初期化(☞ p.35)を行った後、再度バージョンアップを行ってください。

memo ? をクリックするとヘルプページが表示されます。

8-3 購入時の設定に戻す

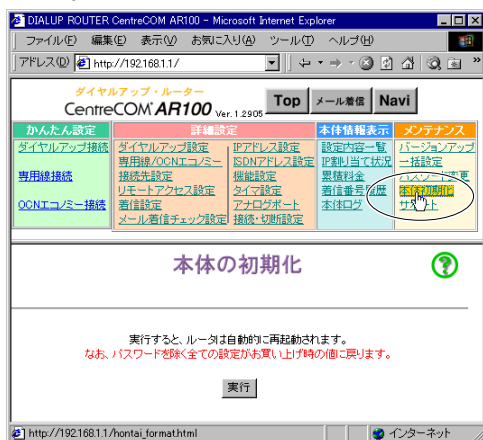
設定内容を購入時の設定に戻す(初期化)機能があり、

- ・WWWブラウザのメニューから行う
 - ・リセットスイッチを使用する
- の2通りあります。

注意!! パスワード以外を購入時の設定に戻したい場合は、WWWブラウザのメニューから行ってください。

WWWブラウザのメニューから行う

メンテナンス から「**本体初期化**」をクリックしてください。



実行 をクリックしてください。

AR100が再起動し、パスワード以外の設定内容がすべて購入時の設定に戻ります。

リセットスイッチで初期化を行う

電源アダプターコードを電源アダプターコード差込口から抜いてAR100の電源をOFFにしてください。

AR100本体の背面にあるRESETスイッチを押したまま電源アダプターコードを電源アダプターコード差込口に挿してAR100の電源をONにしてください。

注意!! RESETスイッチは押しつけてください。(下図参照)

POWER LEDが点灯後



POWER以外のLEDが左右に順次点滅し、



順次点滅

いったんPOWER LED以外のLEDが消灯します。



READY LEDが点灯



約40秒間

READYのLEDが点灯するのを確認したら、RESETスイッチを離してください。

READYが消灯し、



POWER以外のLEDが左右に順次点滅し、



順次点滅

いったんPOWER LED以外のLEDが消灯します。

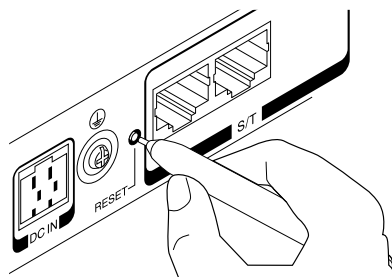


READY LEDが点灯



約15秒間

すべての設定内容が購入時の設定に戻ります。



8-4 パスワードを設定する

購入時はユーザ名／パスワードは設定されていません。セキュリティの確保や不要な設定変更を防ぐためにユーザ名／パスワードを設定できます。

memo ここで設定するユーザ名およびパスワードはAR100への接続を制限するもので、インターネット接続に使用するID／パスワードとは関係ありません。

memo AR100にはLAN側からしか接続できません。したがってインターネットに接続中にWAN側から設定を変更することはできません。

1 ユーザ名／パスワードの設定

メンテナンス から「パスワード変更」をクリックしてください。



ログインユーザ名 にユーザ名を入力してください。

変更前ログインパスワード にパスワードを入力してください。

初めてパスワードを設定する場合は空白にしてください。

変更後ログインパスワード と、**変更後ログインパスワードの確認** にパスワードを入力してください。

設定を登録する をクリックしてください。

設定が保存されます。

「設定内容の保存」をクリックしてください。

確認ページが表示されますので **保存する** をクリックしてください。

機器の再起動が行われ設定内容が反映されます。

memo ユーザ名／パスワードは、16字以内の半角英数が使用できます。

memo パスワードだけを設定することもできます。その場合はログインユーザ名の欄は空白のままにしてください。

memo 設定したパスワードを忘れた場合は、リセットボタンによる初期化を行ってください。パスワードだけを初期化することはできません。

8-5 音量を調節する

音量調節は各ポート毎に設定することができます。

1 ポートの選択

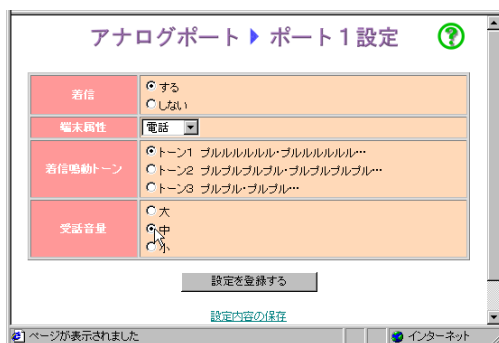
詳細設定 から「アナログポート」をクリックしてください。

アナログポート設定ページが表示されます。

アナログポートの設定 から「アナログポート1設定」または「アナログポート1設定」をクリックしてください。

2 音量の選択

受話音量 から大・中・小、いずれかの音量を選択してください。



設定を登録する をクリックしてください。

設定が保存されます。

「設定内容の保存」をクリックしてください。

確認ページが表示されますので **保存する** をクリックしてください。

機器の再起動が行われ設定内容が反映されます。

製品仕様

ソフトウェア仕様

取得承認	VCCI(ClassA) JATE(T98-5117-0, U98-0115-0, N98-0062-0)
サポート プロトコル	TCP/IP(IEEE 802.3)
ルーティング方式	スタティック, RIP*
使用回線	ISDN(2B+D), 高速デジタル回線 (64Kbps, 128Kbps)
機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ NAT(ENAT) ・ DHCPサーバ(32台) ・ PIAFS対応 ・ BOD機能 ・ 累積料金表示 ・ 課金リミッタ機能 ・ データ圧縮 TCP/IP(VJ Compression)圧縮 STAC LZS圧縮 ・ セキュリティ PPP認証(PAP, CHAP) CallerID IPパケットフィルタリング
機能(アナログ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ INS付加サービス機能 - i・ナンバー - フレックスホン: 三者通話/通話中転送/ 着信転送/ コールウェイティング ・ でんわばんサービス/ でんわばんW登録解除 ・ 迷惑電話おことわりサービス ・ INSボイスワープ/ INSボイスワープセレクト ・ 鳴り分け機能 ・ 内線通話機能 ・ 外線通話内線転送機能 ・ 疑似コールウェイティング機能 ・ グローバル着信選択機能 ・ ダイヤルインポート選択機能 ・ 着信鳴り分け機能 ・ ポートサブアドレス設定機能
管理/設定機能	WWWブラウザでの設定と ファームウェアバージョンアップ (Internet Explorer Ver.4以上、 Netscape Navigator Ver.3以上)

ハードウェア仕様

CPU	SH7020		
WANリンク スピード	64Kbps ~ 128Kbps		
メインメモリ	8MByte		
フラッシュROM	4MByte		
ポート	LANポート：10BASE-T (RJ-45 MDI-X)×4 WANポート：ISDN-BRI S/T点 (RJ-45)×2 U点(RJ-11 ACアダプターに内蔵)×1 ACアダプターに内蔵 アナログポート：RJ-11×2		
LED	ステータス LED		
	POWER(緑色)	ACアダプタ接続時点灯	
	CHECK(橙色)	異常時に点滅，ハードウェア 異常時、またはブート不可時 に点灯	
	READY(緑色)	ファームウェア正常起動時点 灯	
	ネットワーク LED		
	WAN(緑色)	レイヤ1同期確立時点灯	
	LAN(緑色)	イーサネットリンク確立時点 灯	
	B1(緑色)	データ転送時点灯	
	B2(緑色)	データ転送時点灯	
	電源部	入力電圧	AC100V
周波数		50/60Hz	
最大入力電流		0.21A	
平均消費電力		9W	
発熱量		7.8Kcal/h	
環境 条件	動作時	温度：0 ~ 40 湿度：10% ~ 90%（結露なきこと）	
	保管時	温度：-20 ~ 60 湿度：5% ~ 95%（結露なきこと）	
外形寸法	206(W) × 148(D) × 30(H)mm (突起部含まず)		
重量	800g（本体のみ）		
パッケージ内容	AR100本体，ACアダプター， ISDNケーブル， 取扱説明書・かんたん編，詳細編， 製品保証書，ユーザー登録カード， シリアル番号シール		
オプション (別売)	CentreCOM AR001BPU (バッテリーバックユニット)		

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら次の点を確認してください。

それでも改善されない場合は弊社サポートセンターまでお問い合わせください。(👉 p.47)

トラブルシューティング

現象：パソコンからAR100にアクセスできない。

原因：AR100の電源アダプターがコンセントから抜けています。

対処：電源アダプターをコンセントに差し込んでください。(👉 p.16)

原因：10BASE-Tケーブルが外れています。

対処：10BASE-Tケーブルを10BASE-Tポートに差し込んでください。(👉 p.15)

原因：パソコンのIPアドレスが設定されていません。

対処：パソコンのIPアドレス設定を「IPアドレスを自動取得」に設定してください。(👉 p.13)

原因：WWWブラウザの設定が「モデムを使用してインターネットに接続する」になっています。

対処：WWWブラウザの設定を「LANを使用してインターネットに接続する」に変更してください。

原因：WWWブラウザの設定が「Proxyサーバーの設定」になっています。

対処：WWWブラウザの設定でAR100へのアクセスを「Proxyサーバーを使用しない」に変更してください。

現象：パソコンからAR100にアクセスできるが、インターネットへはアクセスできない。

原因：ユーザID、ユーザパスワード、電話番号等の設定が間違っています。

対処：ユーザID、ユーザパスワード、電話番号等を正しく入力し直してください。(👉 p.19)

原因：課金リミットの設定値が通信料金を超過しています。

対処：「ルータ通信料」をクリアしてください。(👉 p.20)

原因：プロバイダーへの接続設定を行っていない接続先を選択しています。

対処：プロバイダーへの接続設定を行っている接続先に変更してください。
(👉 取扱説明書・詳細編「6-3 接続先設定」)

原因：プロバイダーの回線が混雑しています。

対処：しばらくたってからもう一度接続してください。

原因：接続先がDNSサーバアドレス通知機能を搭載していません。

対処：プロバイダー指定のDNSサーバアドレスを指定してください。(👉 p.19)

現象：電話をかけることも、受けることもできない。

原因：電話機コードが外れています。

対処：コードをしっかりと差し込んでください。(👉 p.15)

デジタル電話機の場合：S/T点

アナログ電話機の場合：アナログポート

原因：電話機側の設定がパルスになっています。

対処：トーン式の電話機であることを確認してください。(👉 p.15)
電話機のトーン/パルス切替スイッチをトーンに切り替えてください。

原因：極性反転スイッチが逆になっています。

対処：いったん電源アダプターを外して極性反転スイッチをRVSまたはNORに切り替えてみてください。
(👉 p.16)

現象：電話をかけることはできるが、電話がかかってきても鳴らない。

原因：契約番号を設定したアナログポートの着信設定が「しない」に設定されています。

対処：契約番号を設定したアナログポートの着信設定を「する」に変更してください。
(👉 取扱説明書・詳細編「6-16 アナログポート」)

現象：電話中に電話口から「プープー…」という音が聞こえる。

原因：契約番号を設定したアナログポートの着信設定が「しない」に設定されています。

対処：契約番号を設定したアナログポートの着信設定を「する」に変更してください。
(👉 取扱説明書・詳細編「6-16 アナログポート」)

現象：WWWブラウザを起動すると回線がつながる

原因：WWWブラウザを起動すると同時にインターネット上のホームページを表示する設定になっています。

対処：WWWブラウザを起動すると同時に表示されるページの指定を外してください。

現象：何もしないのにときどき回線がつながる

原因：電子メールソフトが自動的にメール着信チェックを行っています。

対処：定期的に通信を行うアプリケーションを使用していないことを確認してください。

原因：アクティブデスクトップがインターネット上のサイトを購読しています。

対処：購読を中止してください。

現象：ファームウェアを更新したのに表示されない。（古いものが表示される）

原因：履歴が残っていて最新版が表示されていません。

対処：WWWブラウザのキャッシュに情報が残っており、それが表示されています。
キャッシュをクリアしてください。

現象：設定した内容が登録されなかった。

原因： **設定を登録** がクリックされていません。

対処：ページ内で設定した内容を確定するには **設定を登録** をクリックしてください。

また、設定内容を機器に反映させるには、「**設定内容の保存**」をクリックし、**保存する** をクリックしてください。

機器の再起動が行われ設定内容が反映されます。

現象：キャッチホンで受けた電話を内線転送できない。

原因：擬似コールウェイティングで別の電話を受けています。

対処：擬似コールウェイティングの場合、内線転送はできません。

現象：「1」「8」「6」を付加してダイヤルしても発信者番号を通知できない。

原因：INSネット契約で「常時通知拒否」が設定されています。

対処：上記の場合は発信者番号を通知できません。

現象：コールウェイティングが機能しない。

原因：電話機をつないでいるアナログポートが「3.1k」または「G3 FAX」に設定されています。

対処：設定を「電話」に変更してください。

現象：バージョンアップを行ったところインターネットに接続できなくなった。

原因：バージョンアップに失敗しています。

対処：「リセットスイッチで初期化を行う」(🔧 p.35)を実行した後、再度バージョンアップを行ってください。

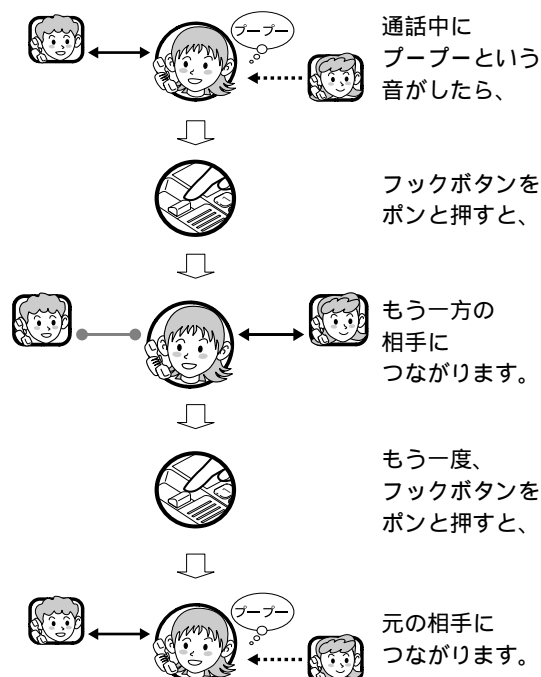
現象：INSなりわけサービス、ボイスワープ、ボイスセレクトなどの番号登録がうまくできない。

原因：プッシュ音は電話番号をダイヤルし終えてから約4秒後にNTTに伝わります。

対処：アナウンスの指示に従って機能を指定する番号とその後に④をダイヤルしてください。
続いて登録したい電話番号と、その後に④をダイヤルしてください。(🔧 p.26)

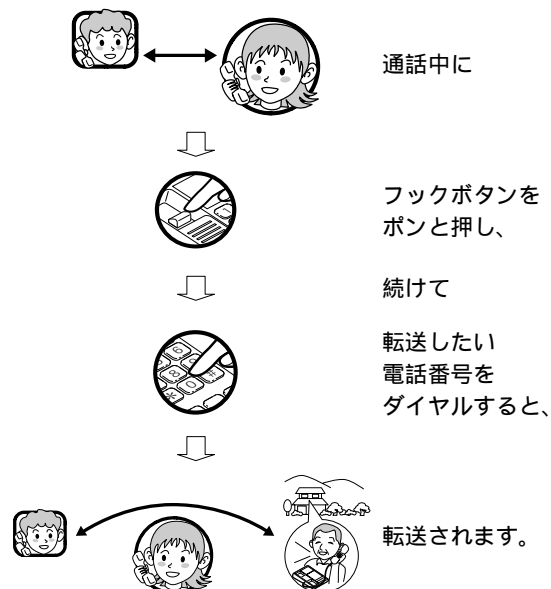
電話操作早見表

キャッチホン



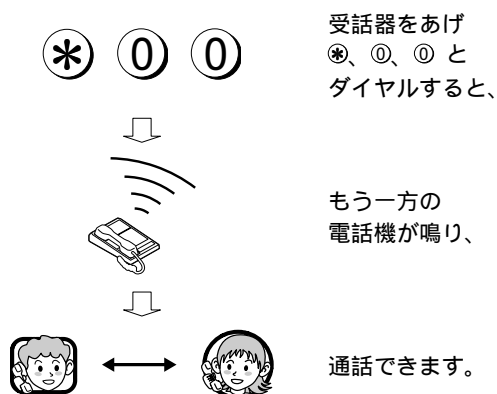
memo フレックスホン(コールウェイティング)の契約をお勧めします (☞ p.24)

違う電話番号に転送

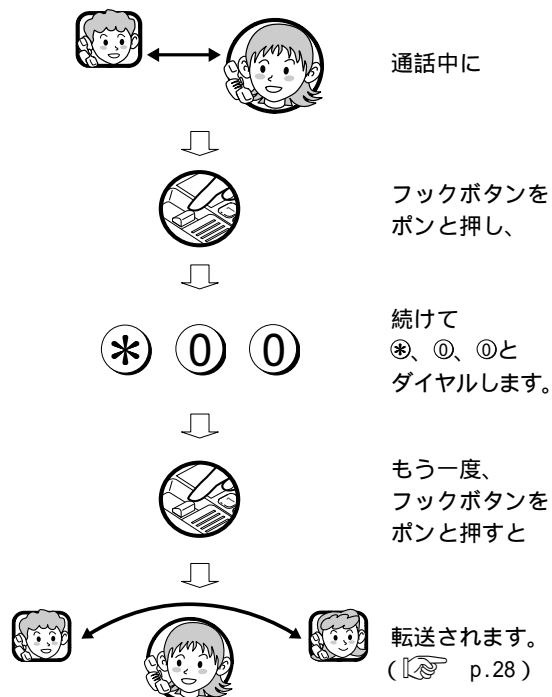


memo フレックスホン(着信転送)の契約が必要です。
(☞ p.29)

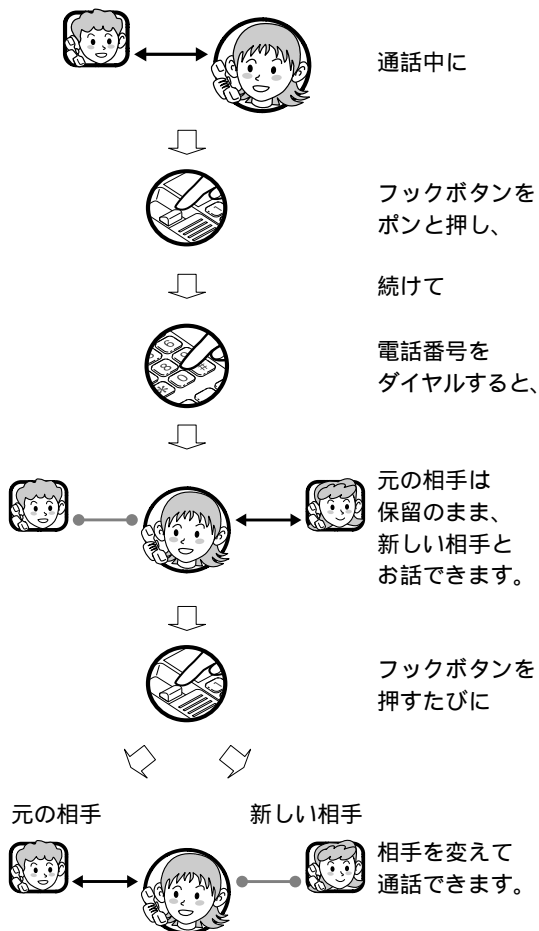
アナログポート間での通話



もう一方の電話に転送

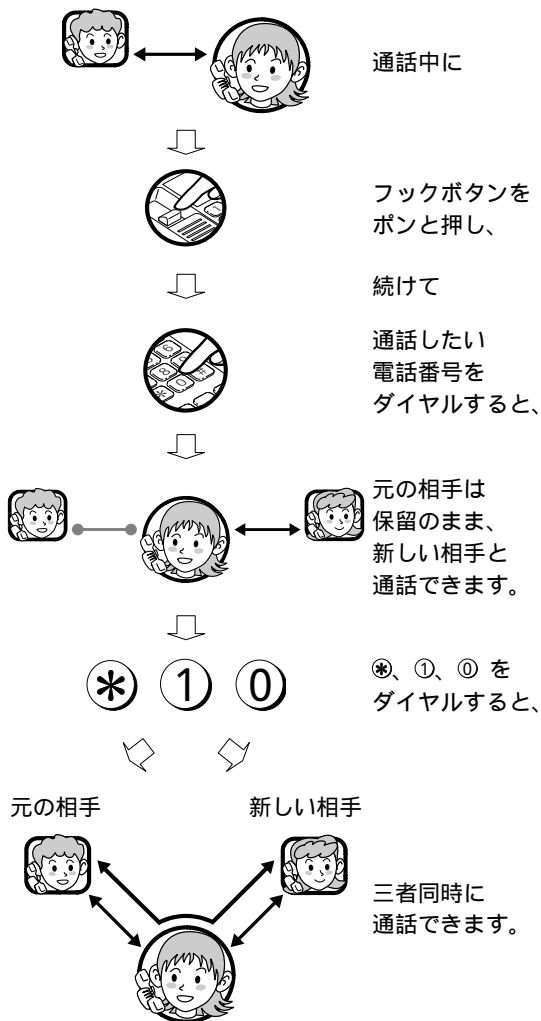


三者通話を行う（切替モード）



memo フレックスホンサービス(三者通話)の契約が必要です。

三者通話を行う（ミキシングモード）



memo フレックスホンサービス(三者通話)の契約が必要です。

INSネット64サービスについて

INSネット64サービスには、

- ・基本サービス(無料)
- ・付加サービス(有料)

があります。

AR100は以下のサービスに対応しています。

基本サービス

発信者番号通知

電話をかけた相手がISDNの場合に、発信者の電話番号を通知するサービスです。

料金通知

NTT側から直接通信機器に料金を通知するサービスです。

サブアドレス通知サービス

サブアドレスを登録しておくことで、着信する機器を指定することができます。

付加サービス

フレックスホンサービス

- ・コールウェイティング機能
一般的にはキャッチホン機能と呼ばれている機能。
- ・通信中転送機能
かかってきた電話を他の電話番号に転送する機能。
- ・三者通話機能
異なる場所の三者が同時に通話する機能。
- ・着信転送機能
かかってきた電話を、指定した電話番号に自動的に転送する機能。

INSナンバーディスプレイサービス

一般回線の電話番号からの着信に対して、発信者番号を通知するサービス。

INSなりわけサービス

特定の電話番号からかかってきた電話に関して、着信音を変えるサービス。

迷惑電話おことわりサービス

迷惑電話をかけてきた相手の電話番号を登録し、着信を拒否するサービス。

INS二重番号サービス

もう1つ電話番号を取得することで、契約者回線番号にかかってきた電話に対して、不在案内で応答するサービス。

INSボイスワープ / INSボイスワープセレクト

フレックスホンの着信転送機能より高機能なサービス。

INSダイヤルインサービス

1本の回線で、複数の通信機器に独立した電話番号を割り当てて使えるようにしたサービス。

i・ナンバ -

1本の回線で2つの電話番号を使えるようにしたサービス。

INSでんわばんサービス

かかってきた電話に対して、音声メッセージで応答するサービス。

その他、上記以外にも通話料金が割り引きになるサービス等多くのサービスがあります。

memo

INS付加サービスを利用するには、電話局の交換機に対して利用開始の指示を送る必要があります。
AR100で利用開始の指示を送るには、指示番号とその後 $\textcircled{\#}$ をダイヤルしてください。
最後に $\textcircled{\#}$ をダイヤルしないと、交換機に指示内容が伝わりません。

memo

各サービスに対する指示番号等、詳細についてはNTTの支店または営業所にお問い合わせください。

用語集

10BASE-T

イーサネットの規格の1つ。10Mbpsの通信速度を持ち、ツイストペアと呼ばれるケーブルを使用する。このケーブルでパソコン等をHUBと呼ばれる集線装置に接続し相互に通信を行う。

B1、B2

ISDN(INSネット64)では、2回線分の通信が可能である。そのそれぞれの回線(Bチャネル)をB1、B2と呼ぶ。

BOD機能 (Bandwidth On Demand)

通信量などに応じて通信容量を動的に調節する仕組み。AR100ではISDNを利用して、データ通信速度をアナログ機器の使用に応じて、128kbpsから64kbpsに減少させることができる。

DHCPサーバー (Dynamic Host Configuration Protocol)

LAN内の通信機器のIPアドレスなどのネットワーク設定を自動的に割り当てる機能を持つサーバー。

DNSサーバー (Domain Name System)

TCP/IPホスト名から、IPアドレス(またはその逆)を検索するのに用いられるサーバー。

DNSリレー

パソコンのDNS設定項目にAR100のアドレスを設定しておき、パソコンからのDNS要求をAR100を経由して行う仕組み。

DSU (Digital Service Unit)

回線終端装置とも言う。電話局からの配線をDSUに接続し、デジタル電話機やデジタルFAX、ターミナルアダプタ(Terminal Adapter, TA)などの通信用端末を接続する。AR100はこのDSU機能を内蔵しているため、別途用意する必要はない。

G3 FAX (Group 3 FAX)

FAX(ファクシミリ)の通信規格の1つ。現在最も広く利用されている。

G4 FAX (Group 4 FAX)

FAX(ファクシミリ)の規格の1つ。G3 FAXよりも解像度が高く高速に送信ができる。G4 FAXを利用するにはISDNに加入する必要がある(アナログ回線では接続できない)ため、あまり普及していない。

HUB (ハブ)

10BASE-Tなどのケーブルを集配するネットワーク接続機器で、複数の端末を接続する場合に使用する。

INSネット64 (Information Network System net 64)

NTTが提供するISDNサービス。64Kbpsの回線を2本分(計128Kbps)使用できる。

ISDN (Integrated Services Digital Network)

「総合デジタル通信網」と呼ばれるサービス体系の総称。電話、ファクシミリ、テレックス、データ通信、ビデオテキスト網を統合化するデジタル通信網の一般的な名称。NTTのサービスとしては「INSネット64」、「INSネット1500」があり、それぞれ128kbps、1.5Mbpsの通信速度を持つ。

LAN (Local Area Network)

会社、組織、学校、工場、ビル、フロア等、ある限定された範囲に敷設されたコンピュータ通信のためのネットワーク。距離、伝送路、トポロジー、手順の明確な定義はないが、一般的には伝送距離が数m~数十km、伝送速度は1M~数Gビット/秒程度である。ケーブルや無線等の伝送媒体を複数のコンピューターで共用し、互いに独立した通信を実行できる。

LANアダプター

パソコン等に装着してネットワーク(LAN)に接続するための機器。

LED (Light Emitting Diode)

発光ダイオード。電流を流すと発光する。点灯/消灯を小電力で簡単にコントロールできることから、電気機器の状態を表わすのに多用される。

MP (Multilink PPP)

PPP*で通信している回線を複数束ねて論理的な1本の通信線として見せる機能。AR100では、INSネット64の1つのチャネルを使用した64kbpsでの通信が可能だが、2つのチャネルを同時に使用して、これを1つの通信線とみなすことで、128kbps(64kbps + 64kbps = 128kbps)での通信が可能になる。

NAT (Network Address Translation)

RFC1631で規定するアドレス変換の方式。ルーターにNATを搭載することで、プライベートIPアドレス*とグローバルIPアドレス*を変換する。AR100ではさらにポート番号を変換する機能を持つため、プロバイダーのIP接続サービスで割り当てられた1個のIPアドレスを、LAN上にある複数台のパソコンで共有できるようになる。この際、IPアドレスとポート番号を基にした変換テーブルがルーター内に作成され、これをNATテーブルと呼ぶ。

PB信号(トーン音)

ブッシュホンのボタンを押した時の音。電話局の交換機に電話番号を伝えるために使用する。

PPP (Point to Point Protocol)

電話線等を使用して遠隔地の機器同士が通信を行うための規格。

RIP (Routing Information Protocol)

IPネットワークの経路情報*を交換するための手順で、他のルーターとネットワークの経路情報(ルーティングテーブル)をやり取りするのに使用する。

S/T点

AR100にISDN機器を接続するためのポート

SOHO (Small Office/Home Office)

小人数のオフィスや、家庭で仕事をする個人事業者を指す言葉。大企業と対照的に使用されることが多い。

TA (Terminal Adapter)

パソコンやアナログ電話機、G3 FAXなど、本来ISDN対応機能を持たない通信機器をISDNに接続するために使用する。AR100はTA機能を内蔵している。

WAN (Wide Area Network)

建物や敷地を越える遠隔地の間を接続するためのネットワーク。広域網とも呼ばれる。LANの対比語として用いられることが多い。

WWWブラウザ (WWW Browser)

WWWサーバーから送られてくる情報(HTML等)をパソコンで表示するためのソフトウェア。

アクセスポイント (Access point)

インターネットにアクセスするためAR100が電話をかける先。

アドレス自動割り当て機能

DHCP

アナログポート

アナログ電話機やG3 FAXを接続するためのポート。従来のアナログ電話回線とほぼ同等に扱える。

アナログ電話機

従来のアナログ電話回線を使用して通信(通話)を行う電話機。

インターネットサービスプロバイダー (Internet Service Provider) インターネットへの接続サービスを提供する企業。ユーザーに対するドメイン名やネットワークアドレスの割り当て、インターネット接続のための伝送路の提供、電子メールサーバー、WWWサーバーなどの提供を主に行っている。

グローバルIPアドレス (global IP address)

グローバルアドレスとも呼ばれる。NIC(Network Information Center)などの公的機関が割り当てる、インターネット接続時に必ず必要となるIPアドレスの別名である。閉じたネットワーク内部に限り自由に利用できるプライベートIPアドレスが登場したため、反意語としてグローバルアドレスと呼ばれるようになった。

ゲートウェイアドレス

ネットワークにおいて、同一LAN上に存在しないノードや、(物理的、論理的を問わず)別のネットワークに対するデータ通信を行う場合、ゲートウェイと呼ばれるノード(通常はルーター)へデータを転送する。しかしどのゲートウェイへ送ってよいか分からない場合は、デフォルトゲートウェイという一番代表的なノードへ送ることになる。通常、各ノードにデフォルトゲートウェイだけを設定しておけば、あとはそのデフォルトゲートウェイが適宜ルーティングを行ってくれる。

経路情報

ルーティングを行うためにルーターが蓄積している経路情報。あるネットワークに到達するには、隣接したどのルーターにパケットを送出するべきかが記載されている。

サブネットマスク (subnet mask)

IPアドレスからサブネットのネットワークアドレスを求める場合に使用するマスク値のこと。サブネットマスクは、通常は上位の側から連続した1を用い、たとえば255.255.255.0などとして、これをサブネット長が24であると表現する。

専用線

接続先を固定とし、固定料金で利用できる通信回線。NTTではデータ通信用として64kbps～6Mbpsのサービスを行っている。

ダイヤルアップ

インターネットなどにダイヤルして接続することを言う。

ダイヤルアップ・ルーター (dialup router)

主にISDN回線を使用しインターネットとの接続を行うためのルーター。必要な場合のみ接続することで、通信コストを削減できる。また、接続と切断が自動的に行なわれるのでユーザー側の操作が簡単になる。

デジタル通信機器

ISDN回線を使用して通信を行う機器。TA、G4 FAX、デジタル電話機、等が相当する。AR100もデジタル通信機器である。

ファームウェア

工場出荷時にROMなどにより機器に搭載されているソフトウェアで、AR100ではフラッシュメモリに搭載されており、バージョンアップ時にはユーザー側で書き替えることができる。

プライベートIPアドレス (private IP address)

RFC1597で規定されており、プライベートIPアドレスとも呼ばれる。組織内部だけのクローズな環境ではその組織だけで通用するIPアドレスを利用し、インターネットにアクセスする場合だけ本来のユニークなアドレス(グローバルアドレス)を割り当てる方法が一般化している。プライベートIPアドレス空間からグローバルアドレス空間(Internet)にアクセスできるようにする仕組みとしては、ProxyやNAT(Network Address Translator)が利用される。インターネット上へプライベートIPアドレスを持ったパケットを送出することは、禁止されている。10.0.0.0～10.255.255.255、172.16.0.0～172.31.255.255、192.168.0.0～192.168.255.255がプライベートIPアドレスとして規定されている。

プロバイダー

インターネットサービスプロバイダー

モデム (modem)

電話回線を使ってコンピュータ同士が通信できるようにするため、デジタル信号をアナログ信号に変換(または逆に変換)を行うための装置。

リンクアップ

リンクとは、機器間をつなぐ線の部分のことであり、電話網やLANの配線がこれに相当する。機器のポート間がリンクによって接続され、通電等により電氣的に通信可能な状態になることをリンクアップという。

ルーター

IPアドレスにより通信先までの最適な伝送路を探し出して、データの再生中継を行う機器。LANを流れるデータのうち、インターネットへ中継すべきデータを判断してデータを転送する。またインターネットから来たデータの送先を判断して、各端末へ転送する。

索引

A ~ Q

AR100サポートページの表示	34
AR100とその他機器を接続する	16
AR100と電源アダプターを接続する	15
AR100と電話機/FAXを接続する	15
AR100とパソコンを接続する	15
AR100とモジュージャックを接続する	15
AR100とモデムを接続する	16
AR100に接続した電話がつかない	16
AR100のスイッチ類を確認する	16
AR100の電源を入れる	16
AR100を使うまで	9
BOD機能 (Bandwidth On Demand)	19, 43
B1	43
B2	43
CentreCOM AR100 Topページの見方	18
DHCPサーバー (Dynamic Host Configuration Protocol)	43
DSU (Digital Service Unit)	43
DSU切離しスイッチ	10, 16
DNSサーバー (Domain Name Service/system)	38
DNSサーバーアドレスの入力	19
DNSリレー	39
FG端子	10
HUB	43
INSダイヤルインサービスについて	21
INSダイヤルインサービスを利用する	23, 42
INSテレホーダイサービス	8
INSなりわけサービスを利用する	26, 42
INSなりわけ、ボイスワープ、ボイスワープ	39
セレクトなどの電話番号登録がうまくできない	
INSナンバーディスプレイ	42
INSネット64 (Information Network System net 64)	42, 43
INSネット64お申込票	11, 43
「INSネット64」の契約内容	11
ISDN (Integrated Services Digital Network)	43
IPアドレスを自動取得	13
IP接続サービス	8
i・ナンバー	42
i・ナンバー追加番号	22
i・ナンバーについて	21
i・ナンバーを利用する	22
LAN (local area network)	43
LANアダプター	43
LANアダプターの確認	12
LED (Light Emitting Diode)	10, 43
MP (Multilink PPP)	43
NAT (Network Address Translation)	43
OSのCD-ROMを要求される場合	13
PB信号 (トーン音)	43
PPP (Point to Point Protocol)	43
RIP (Routing Information Protocol)	43
S/T点	43
TA (Terminal Adapter)	43
TCP/IPの設定	13
Topページの見方	18
WAN (Wide Area Network)	43
WWWブラウザを起動する	17
WWWブラウザ (WWW Browser)	43
WWWブラウザのメニューから初期化を行う	35
WWWブラウザを起動すると回線がつかってしまう	39
「1」「8」「6」を付加してダイヤルしても	39

発信者番号を通知できない

あ

相手によって着信音を変える	26
アクセスポイント (Access point)	43
アクセスルーター	43
アドレス自動割り当て機能	43
アナログ電話回線からの電話でなりわけをしたい場合	27
アナログ電話機	44
アナログ電話番号を着信番号履歴に表示する	32
アナログポート	10, 43
アナログポート間での通話	40
田舎のおばあちゃんからの電話を下宿先の息子に転送する	29
田舎のおばあちゃんからの電話を子供部屋に転送する	28
インターネットサービスプロバイダー	44
(Internet Service Provider)	
インターネットに接続する	19, 20
閲覧可能なブラウザ	17
音量を調節する	36

か

外出中に家にかかってきた電話を携帯電話に転送する	30
回線ケーブル	7
回線コネクタ	10
回線切断までの経過時間を変更する	20
回線料金について	4
各部の名称と機能	10
擬似コールウェイティングを利用する	25
擬似コールウェイティングを利用できない場合	25
擬似なりわけサービスを利用する	27
擬似なりわけ情報が使えない場合	27
擬似なりわけ情報を削除する	27
擬似なりわけを設定できる数	27
キャッチホン機能	24, 40
キャッチホンで受けた電話を内線転送できない	39
コールウェイティングと擬似コールウェイティングについて	24
極性反転切替スイッチを切り替える場合	16
切替モードで三者通話を行う	41
グローバルアドレス (global address)	44
契約番号	22
契約電話番号の通知・非通知を発信時に変更する	22
ゲートウェイアドレス	44
購入時の設定に戻す (初期化)	35
コールウェイティングが機能しない	39
コールウェイティング機能	24, 42
故障かな?と思ったら	38

さ

サブネットマスク (subnet mask)	44
三者通話を行う (切替モード) (ミキシングモード)	41, 42
自動的に別の電話番号に転送する	30
自動で別の電話に転送できない番号	30
自動発信を待たずに、すぐに発信したい	21
終端抵抗切替スイッチ	10, 16
詳細設定フレーム	18
シリアル番号シール	7
すべての設定内容を購入時の状態に戻す (初期化)	35
製品仕様	37
接続可能な電話機	15
設定した内容が登録されなかった	39
設定したパスワードを忘れた	36
設定するユーザーを限定したい	17

設定に必要なプロバイダーとの契約内容	17
前面図	10
専用線	44
操作フレーム	18
SOHO (Small Office / Home Office)	43

た

ダイヤルアップ	44
ダイヤルアップ接続フレーム	18
ダイヤルアップ接続を行う	19
ダイヤルアップ・ルーター (dial-up router)	44
ダイヤルインサービス	42
違う電話番号に転送する	40
着信転送機能	40
着信番号履歴のクリア	32
着信番号履歴の表示について	32
着信番号履歴を表示する	32
通信終了後の自動切断について	20
通信中転送機能	29, 42
通信の利用限度額を設定したい	20
通信料金の課金	10
通信を手動で切断する	20
通話中の電話をもう一方のアナログポートに転送する	28
デジタル通信機器	44
底面図	10
電源アダプター	7, 10
電源アダプターコード	10
電源アダプターコード差込口	10
電源を入れたのにPOWER LEDが点灯しない	16
電源を入れたらWAN、CHECK LEDが点滅している	16
10BASE-T	43
電話側にかかってきたFAXをもう一方のFAXに転送する	28
電話機/FAXを使う	21
電話操作早見表	40
電話中に電話口から「ブーブー...」という音が聞こえる	38
電話とFAXを別々の番号で使用する	22
電話/FAXをかける・受ける	21
電話をかけることはできるが、	38
電話がかかってきても鳴らない	
電話をかけることも受けることもできない	38
トップページに戻る方法	18
トラブルシューティング	38
取扱説明書の読みかた	5

な

何もしないのにときどき回線がつながる	39
なりわけサービス	42
なりわけ対象の電話番号を登録する	26
ナンバーディスプレイ	42

は

バージョン情報の表示	18
背面図	10
はじめて設定される方へ	18
パスワード以外の設定を購入時設定に戻したい	35
パスワードだけを設定する	36
パソコンからAR100にアクセスできない	38
パソコンからAR100にアクセスできるが	38
インターネットへはアクセスできない	
パソコンを起動させないでメール着信の有無を調べる	33
パソコンを接続するためのケーブル	15

発信者番号通知	27, 42
ハブ (HUB)	43
ファームウェア	44
ファームウェア更新の目的	34
ファームウェアのバージョンアップに失敗した場合	34
ファームウェアのバージョンアップを行った	39
ところインターネットに接続できなくなった	
ファームウェアを更新したのに新しいものが表示されない	39
ファームウェアを更新する	34
ファームウェアを入手する	34
ファームウェアをフロッピーディスクで入手する	34
ファームウェアをホームページから入手する	34
フックボタンを押すと電話が切れてしまう	24, 25
プライベートIPアドレス (private address)	44
プロバイダー	44
プロバイダーと新規に契約する	17
プロバイダーとの契約を確認する	17
分配器の使用について	15
別の電話番号に転送する	29
別々の番号を使用する (電話/FAX)	21
ヘルプページの表示方法	18
本体	7
本体情報表示フレーム	18

ま

ミキシングモードで三者通話を行う	41
メール着信チェック設定のできるメールアカウント数	33
メール着信をLEDで確認する	33
メール着信を確認する	33
メニューフレーム	18
メンテナンスフレーム	18
もう一方の電話に転送	40
もう一方の電話/FAXに転送する	28
モデム (modem)	44

や

ユーザー登録カードについて	7
ユーザ名とパスワードを設定する	36
U点極性反転スイッチ	10

ら

リセットスイッチ	10
リセットスイッチで初期化を行う	35
料金情報通知サービス	31
料金通知	42
両アナログポートにグローバル着信を設定する場合	23
リンクアップ	44
累積料金の内訳	31
累積料金のクリア	31
累積料金の対象となる期間	31
累積料金を表示する	31
ルーター	44
ルーティングテーブル	44

ユーザーサポート

弊社へお問い合わせいただく場合は以下の窓口へお願いいたします。

電話またはファクシミリにより回答させていただきます。

問い合わせ窓口

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

ファックス番号 : 0120-860662(24 時間受付)
電話番号 : 0120-860772
(月曜日～金曜日) : 09:00～12:00, 13:00～18:00
(祝・祭日を除く)
携帯電話/PHS の場合 : 045-476-6203
メールアドレス : support@allied-teleasis.co.jp
ホームページ : メニューから「サポート」をクリックし、「インターネットの窓口」から調査依頼書フォームを使ってお問い合わせください。

なお、迅速に対応させていただくためにも、また障害等につきましては弊社担当者が発生環境を明確に把握できるよう、本書に添付しております「調査依頼書」に必要な事項をご記入の上、ファクシミリまたはメールにて送付いただくよう、お願いいたします。(👉 p.48)

memo ホームページからも「調査依頼書電子フォーマット」を入手していただけます。

「調査依頼書」ご記入にあたって

調査依頼書は、障害等の起こった原因や対策を究明するためにご記入いただくものです。

迅速に障害の解消を行うためにも、また弊社の担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、十分な情報をご提供いただきますよう、お願いいたします。

注意!! あらかじめ、製品のシリアル番号/バージョン(Ver.)リビジョン(Rev.)を調べておいてください。シリアル番号/リビジョン番号は、製品裏面に貼付されているバーコードシールに記載されています。

注意!! メールやホームページからお問い合わせいただく場合は、ご記入の際に半角のカタカナは使用しないでください。文字化けする恐れがあります。

注意!! 文字化けしていたり連絡先が不明なものにつきましては、連絡をできない場合があります。

記入内容について

- ・ファームウェアバージョンは、TOPページに記載しています。



- ・必要に応じて、設定内容や本体ログを印刷したものを添付してください。
(👉 取扱説明書・詳細編「7 本体情報表示」)
- ・障害が起こる直前に行った操作を記入してください。
- ・内容により簡単なネットワーク構成図を記入してください。

年 月 日

1. 御社名： _____
部署名： _____ ご担当者： _____
ご連絡先住所： 〒 _____
TEL: () FAX: ()

2. 購入先： _____ 購入年月日： _____
購入先担当者： _____ 連絡先(TEL): ()

1. ご使用ハードウェア機種種のシリアル番号、製品リビジョン、ファームウェアバージョン

S/N _____ Rev _____

ファームウェアバージョン Ver.

- ☐
- 添付あり
- ☐
- 添付なし

- ☐ セットアップ中に起きている障害
- ☐ セットアップ後、運用中に起きている障害

- ☐ ISDN
- ☐ NTT 工事 ☐ お客様による工事
 - ☐ ダイヤルインあり ☐ ダイヤルインなし
 - ☐ サブアドレスあり ☐ サブアドレスなし
- ☐ 専用線

- ## 5. LED、スイッチの状態

[illegible]

DSU	TERM
<input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF	<input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF

お問い合わせ内容

接続の構成図

簡単で結構ですからご記入をお願いします。

